

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014年9月12日(12.09.2014)



(10) 国際公開番号

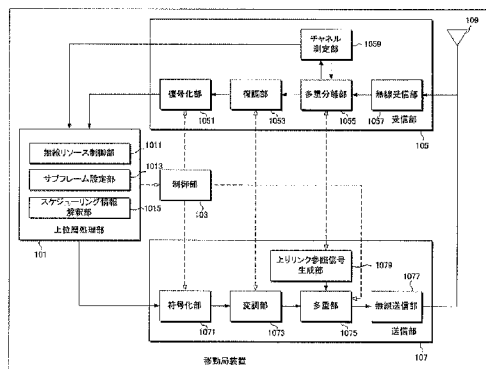
WO 2014/136790 A1

- (51) 国際特許分類:
H04W 28/06 (2009.01) H04W 72/12 (2009.01)
H04W 72/04 (2009.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2014/055504
- (22) 国際出願日: 2014年3月4日(04.03.2014)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2013-042980 2013年3月5日(05.03.2013) JP
- (71) 出願人: シャープ株式会社(SHARP KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒5458522 大阪府大阪市阿倍野区長池町2番2号 Osaka (JP).
- (72) 発明者: 鈴木 翔一(SUZUKI Shoichi). 相羽 立志(AIBA Tatsushi). 横枕 一成(YOKOMAKURA Kazunari). 中嶋 大一郎(NAKASHIMA Daiichiro). 今村 公彦(IMAMURA Kimihiko).
- (74) 代理人: 福地 武雄(FUKUCHI Takeo); 〒1500031 東京都渋谷区桜丘町3番1号 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI

[続葉有]

(54) Title: TERMINAL DEVICE, INTEGRATED CIRCUIT, WIRELESS COMMUNICATION METHOD, AND BASE STATION DEVICE

(54) 発明の名称: 端末装置、集積回路、無線通信方法、および基地局装置



- 1 Mobile terminal device
101 Upper-layer processing unit
103 Control unit
105 Receiving unit
107 Transmission unit
1011 Wireless-resource control unit
1013 Subframe setting unit
1015 Scheduling-information interpretation unit
1051 Decoding unit
1053 Demodulation unit
1055 Demultiplexing unit
1057 Wireless receiving unit
1059 Channel measurement unit
1071 Encoding unit
1073 Modulation unit
1075 Multiplexing unit
1077 Wireless transmission unit
1079 Uplink-reference-signal generation unit

(57) Abstract: A terminal device for communicating with a base station device and equipped with a setting unit for setting a first setting, a second setting and a third setting, wherein: the setting unit starts or restarts a timer when setting the third setting, and clears/cancels the third setting when the timer finishes; the first setting is used in order to determine the correlation between a subframe in which a PDCCH is positioned and a subframe in which a PUSCH corresponding to the PDCCH is positioned; the second setting is used in order to determine the correlation between a subframe in which a PDSCH is positioned and a subframe in which a HARQ-ACK corresponding to the PDSCH is transmitted; and the third setting is used in order to identify an uplink subframe capable of uplink transmission.

(57) 要約: 基地局装置と通信する端末装置において、第1の設定、第2の設定、および、第3の設定をセットする設定部と、を備え、前記設定部は、前記第3の設定をセットする際にタイマーをスタートまたはリスタートし、前記タイマーが満了する際に前記第3の設定をクリア/破棄し、前記第1の設定は、PDCCHが配置されるサブフレームと前記PDCCHが対応するPUSCHが配置されるサブフレームとの対応を決定するために用いられ、前記第2の設定は、PDSCHが配置されるサブフレームと前記PDSCHに対応するHARQ-ACKが送信されるサブフレームとの対応を決定するために用いられ、前記第3の設定は、上リリンクの送信が可能な上リリンクサブフレームを特定するために用いられる。

WO 2014/136790 A1



(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, 添付公開書類:
MR, NE, SN, TD, TG).

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称：

端末装置、集積回路、無線通信方法、および基地局装置

技術分野

[0001] 本発明は、端末装置、集積回路、無線通信方法、および基地局装置に関する。

背景技術

[0002] セルラー移動通信の無線アクセス方式および無線ネットワーク（以下、「Long Term Evolution（LTE）」、または、「Evolved Universal Terrestrial Radio Access：EUTRA」と称する。）が、第三世代パートナーシッププロジェクト（3rd Generation Partnership Project：3GPP）において検討されている。LTEでは、下りリンクの通信方式として、直交周波数分割多重（Orthogonal Frequency Division Multiplexing：OFDM）方式が用いられる。LTEでは、上りリンクの通信方式として、SC-FDMA（Single-Carrier Frequency Division Multiple Access）方式が用いられる。LTEでは、基地局装置をeNodeB（evolved NodeB）、移動局装置をUE（User Equipment）とも称する。LTEは、基地局装置がカバーするエリアをセル状に複数配置するセルラー通信システムである。単一の基地局装置は複数のセルを管理してもよい。

[0003] LTEは、時分割複信（Time Division Duplex：TDD）に対応している。TDD方式を採用したLTEをTD-LTEまたはLTE-TDDとも称する。TDDは、上りリンク信号と下りリンク信号を時分割多重することによって、単一の周波数帯域において全二重通信（full duplex communication）を可能にする技術である。

[0004] 3GPPにおいて、上りリンクのトラフィックと下りリンクのトラフィックに応じて、上りリンクリソースと下りリンクリソースの比率を変更するトラフィックアダプテーション技術と干渉軽減技術（DL-UL Interference Mana

gement and Traffic Adaptation) を T D - L T E に適用することが検討されている。

[0005] 非特許文献 1 において、フレキシブルサブフレーム (flexible subframe) を用いる方法が、トラフィックアダプテーションを実現する方法として提示されている。基地局装置は、フレキシブルサブフレームにおいて、上りリンク信号の受信または下りリンク信号の送信を行なうことができる。非特許文献 1 において、移動局装置は、基地局装置によって、フレキシブルサブフレームにおいて上りリンク信号の送信を指示されない限り、該フレキシブルサブフレームを下りリンクサブフレームとみなす。該トラフィックアダプテーション技術をダイナミック T D D とも称する。

[0006] 非特許文献 1 には、新たに導入する UL-DL configuration に基づいて P D S C H (Physical Downlink Shared CHannel) に対する H A R Q (Hybrid Automatic Repeat reQuest) タイミングを決定し、最初の UL-DL configuration に基づいて P U S C H (Physical Uplink Shared CHannel) に対する H A R Q タイミングを決定することが記載されている。

[0007] 非特許文献 2 には、(a) UL/DL Reference Configuration を導入すること、(b) いくつかのサブフレームはスケジューラからのダイナミック・グラント／アサインメントによって上りリンク、または下りリンクの何れかのためにスケジュールされることが記載されている。

先行技術文献

非特許文献

[0008] 非特許文献 1 : "On standardization impact of TDD UL-DL adaptation", R1-122016, Ericsson, ST-Ericsson, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #69, Prague, Czech Republic, 21st - 25th May 2012.

非特許文献 2 : "Signalling support for dynamic TDD", R1-130558, Ericsson, ST-Ericsson, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72, St Julian's, Malta, 28th January - 1st February 2013.

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0009] 上りリンクリソースと下りリンクリソースの比率を変更しない場合に比べて、トラフィックアダプテーション技術を適用した場合には、大きなスループットの改善が得られる。しかしながら、端末装置がスケジューラからのスケジューリング情報を誤って受信/復号してしまった場合には、基地局装置が他の端末装置に対する下りリンクの信号を送信するサブフレームにおいて、該端末装置が上りリンクの信号を送信してしまい、該上りリンクの信号が該下りリンクの信号への干渉となってしまうという問題がある。

[0010] 本発明は上記の点に鑑みてなされたものであり、その目的は、端末装置が誤って上りリンクの信号を送信する確率を低減することができる端末装置、集積回路、無線通信方法、および基地局装置を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0011] (1) 上記の目的を達成するために、本発明は、以下のような手段を講じた。すなわち、本発明の端末装置は、基地局装置と通信する端末装置であって、上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する設定部と、同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれでモニタする受信部と、を備え、前記受信部は、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を1つ検出するまで、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が伝送される複数のサブフレームのそれぞれで前記情報をモニタする。

[0012] (2) また、本発明の集積回路は、基地局装置と通信する端末装置に実装される集積回路であって、上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する機能と、同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を1つ検出するまで、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が伝送される複数のサブフレームのそれぞれで前記情報をモニタする機能と、を含む一連の機能を前記端末装置に発揮させる。

[0013] (3) また、本発明の無線通信方法は、基地局装置と通信する端末装置に対して用いられる無線通信方法であって、上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定し、同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を1つ検出するまで、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が伝送される複数のサブフレームのそれぞれで前記情報をモニタする。

[0014] (4) また、本発明の基地局装置は、端末装置と通信する基地局装置であって、上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する設定部と、同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれで送信する送信部と、を備え、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が送信される前記複数のサブフレームは、前記同じ無線フレームの期間の長さと同じ長さの期間に含まれる。

[0015] (5) また、本発明の集積回路は、端末装置と通信する基地局装置に実装される集積回路であって、上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する機能と、同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれで送信する機能と、を含む一連の機能を前記基地局装置に発揮させ、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が送信される前記複数のサブフレームは、前記同じ無線フレームの期間の長さと同じ長さの期間に含まれる。

[0016] (6) また、本発明の無線通信方法は、端末装置と通信する基地局装置に対して用いられる無線通信方法であって、上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定し、同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれで送信し、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が送信される前記複数のサブフレームは、前記同じ無線フレームの期間の長さと同じ長さの期間に含まれる。

発明の効果

[0017] この発明によれば、端末装置が誤って上りリンクの信号を送信する確率を低減することができる。

図面の簡単な説明

[0018] [図1]本実施形態の無線通信システムの概念図である。

[図2]本実施形態の無線フレームの概略構成を示す図である。

[図3]本実施形態のスロットの構成を示す図である。

[図4]本実施形態の下りリンクサブフレームにおける物理チャネルおよび物理信号の配置の一例を示す図である。

[図5]本実施形態の上りリンクサブフレームにおける物理チャネルおよび物理信号の配置の一例を示す図である。

[図6]本実施形態のスペシャルサブフレームにおける物理チャネルおよび物理信号の配置の一例を示す図である。

[図7]本実施形態の移動局装置1の構成を示す概略ブロック図である。

[図8]本実施形態の基地局装置3の構成を示す概略ブロック図である。

[図9]本実施形態におけるuplink - downlink configurationの一例を示す表である。

[図10]本実施形態におけるPDCCH/EPDCCH/PHICHが配置されるサブフレーム n と前記PDCCH/EPDCCH/PHICHが対応するPUSCHが配置されるサブフレーム $n+k$ との対応を示す図である。

[図11]本実施形態におけるPHICHが配置されるサブフレーム n と前記PHICHが対応するPUSCHが配置されるサブフレーム $n-k$ との対応を示す図である。

[図12]本実施形態におけるPUSCHが配置されるサブフレーム n と前記PUSCHが対応するPHICHが配置されるサブフレーム $n+k$ との対応を示す図である。

[図13]本実施形態におけるPDSCHが配置されるサブフレーム $n-k$ と前記PDSCHが対応するHARQ-ACKが送信されるサブフレーム n との

対応を示す図である。

[図14]本発明の第1の実施形態における上りリンク参照設定によって指示されるサブフレームと下りリンク参照設定によって指示されるサブフレームの関係を示す図である。

[図15]本発明の第1の実施形態における上りリンク参照設定によって指示されるサブフレームと下りリンク参照設定によって指示されるサブフレームと送信方向設定によって指示されるサブフレームの関係を示す図である。

[図16]本発明の第1の実施形態における上りリンク参照設定と下りリンク参照設定と送信方向設定の関係を示す図である。

[図17]本発明の第1の実施形態における基地局装置3と移動局装置1（1A、1B）との通信の一例を示す図である。

[図18]本発明の第2の実施形態における上りリンク参照設定と下りリンク参照設定と送信方向設定の関係を示す図である。

[図19]本発明の第3の実施形態の一例を示すシーケンス図である。

[図20]本発明の第4の実施形態の一例を示すシーケンス図である。

[図21]本発明の第5の実施形態の一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0019] 以下、本発明の実施形態について説明する。

[0020] 本実施形態では、移動局装置は、単一のセルが設定される。移動局装置に対して設定される複数のセルのそれぞれにおいて、本発明が適用されてもよい。移動局装置が複数のセルと通信する技術をセルアグリゲーション、またはキャリアアグリゲーションと称する。また、設定された複数のセルの一部において、本発明が適用されてもよい。移動局装置に設定されるセルを、サービングセルとも称する。

[0021] 本実施形態の無線通信システムは、TDD（Time Division Duplex）方式が適用される。本発明は、セルアグリゲーションの場合には、複数のセルのそれぞれにおいてTDD方式が適用されてもよい。

[0022] TDDが適用される複数のセルがアグリゲートされる場合には、half-dupl

ex TDD方式またはfull-duplex TDD方式が適用される。Half-duplex TDD方式では、端末は、TDDが適用される複数のセルにおいて、上りリンクの送信と下りリンクの受信を同時に行なうことはできない。Full-duplex TDD方式では、端末は、TDDが適用される複数のセルにおいて、上りリンクの送信と下りリンクの受信を同時に行なうことができる。

[0023] TDDが適用されるセルとFDD (Frequency Division Duplex) が適用されるセルとがアグリゲーションされる場合に、TDDが適用されるセルに対して本発明を適用することができる。

[0024] 本実施形態において、“X/Y”は、“XまたはY”の意味を含む。本実施形態において、“X/Y”は、“XおよびY”の意味を含む。本実施形態において、“X/Y”は、“Xおよび/またはY”の意味を含む。

[0025] 図1は、本実施形態の無線通信システムの概念図である。図1において、無線通信システムは、移動局装置1A~1C、および基地局装置3を具備する。以下、移動局装置1A~1Cを移動局装置1という。

[0026] 本実施形態の物理チャネルおよび物理信号について説明する。

[0027] 図1において、移動局装置1から基地局装置3への上りリンクの無線通信では、以下の上りリンク物理チャネルが用いられる。上りリンク物理チャネルは、上位層から出力された情報を送信するために使用される。

- ・P U C C H (Physical Uplink Control CHannel)
- ・P U S C H (Physical Uplink Shared CHannel)
- ・P R A C H (Physical Random Access CHannel)

[0028] P U C C Hは、上りリンク制御情報 (Uplink Control Information: UCI) を送信するために用いられる物理チャネルである。上りリンク制御情報は、下りリンクのチャネル状態情報 (Channel State Information: CSI)、P U S C Hリソースの要求を示すスケジューリング要求 (Scheduling Request: SR)、下りリンクデータ (Transport block, Downlink-Shared CHannel: DL-SCH) に対するACK (acknowledgement) /NACK (negative-acknowledgement) を含む。ACK/NACKを、HARQ-ACK、HARQフィード

バック、または、応答情報とも称する。

[0029] PUSCHは、上りリンクデータ (Uplink-Shared CHannel: UL-SCH) を送信するために用いられる物理チャネルである。また、PUSCHは、上りリンクデータと共にACK/NACKおよび/またはチャネル状態情報を送信するために用いられてもよい。また、PUSCHはチャネル状態情報のみ、または、ACK/NACKおよびチャネル状態情報のみを送信するために用いられてもよい。

[0030] PRACHは、ランダムアクセスプリアンブルを送信するために用いられる物理チャネルである。PRACHは、移動局装置1が基地局装置3と時間領域の同期をとることを主な目的とする。その他に、PRACHは、初期コネクション確立 (initial connection establishment) プロシージャ、ハンドオーバープロシージャ、コネクション再確立 (connection re-establishment) プロシージャ、上りリンク送信に対する同期 (タイミング調整)、およびPUSCHリソースの要求を示すためにも用いられる。

[0031] 図1において、上りリンクの無線通信では、以下の上りリンク物理信号が用いられる。上りリンク物理信号は、上位層から出力された情報を送信するために使用されないが、物理層によって使用される。

- ・上りリンク参照信号 (Uplink Reference Signal: UL RS)

[0032] 本実施形態において、以下の2つのタイプの上りリンク参照信号が用いられる。

- ・DMRS (Demodulation Reference Signal)
- ・SSRS (Sounding Reference Signal)

[0033] DMRSは、PUSCHまたはPUCCHの送信に関連する。DMRSは、PUSCHまたはPUCCHと時間多重される。基地局装置3は、PUSCHまたはPUCCHの伝搬路補正を行なうためにDMRSを使用する。以下、PUSCHとDMRSを共に送信することを、単にPUSCHを送信すると称する。以下、PUCCHとDMRSを共に送信することを、単にPUCCHを送信すると称する。

[0034] SRSは、PUSCHまたはPUCCHの送信に関連しない。基地局装置3は、上りリンクのチャネル状態を測定するためにSRSを使用する。移動局装置1は、上位層によって設定された第1のリソースにおいて第1のSRSを送信する。さらに、移動局装置1は、PDCCHを介してSRSの送信を要求することを示す情報を受信した場合に、上位層によって設定された第2のリソースにおいて第2のSRSを1回のみ送信する。第1のSRSをピリオディックSRSとも称する。第2のSRSをアピリオディックSRSとも称する。

[0035] 図1において、基地局装置3から移動局装置1への下りリンクの無線通信では、以下の下りリンク物理チャネルが用いられる。下りリンク物理チャネルは、上位層から出力された情報を送信するために使用される。

- ・PBCH (Physical Broadcast CHannel)
- ・PCFICH (Physical Control Format Indicator Channel)
- ・PHICH (Physical Hybrid automatic repeat request Indicator Channel)
- ・PDCCH (Physical Downlink Control Channel)
- ・EPDCCH (Enhanced Physical Downlink Control Channel)
- ・PDSCH (Physical Downlink Shared Channel)

[0036] PBCHは、移動局装置1で共通に用いられるマスターインフォメーションブロック (Master Information Block: MIB, Broadcast Channel: BCH) を報知するために用いられる。MIBは、40ms間隔で送信され、MIBは10ms周期で繰り返し送信される。具体的には、 $SFN \bmod 4 = 0$ を満たす無線フレームにおけるサブフレーム0においてMIBの初期送信が行なわれ、他の全ての無線フレームにおけるサブフレーム0においてMIBの再送信 (repetition) が行なわれる。SFN (system frame number) は無線フレームの番号である。MIBはシステム情報である。例えば、MIBは、SFNを示す情報を含む。

[0037] PCFICHは、PDCCHの送信に用いられる領域 (OFDMシンボル

）を指示する情報を送信するために用いられる。

[0038] P H I C Hは、基地局装置3が受信した上りリンクデータ (Uplink Shared Channel: UL-SCH) に対する A C K (ACKnowledgement) または N A C K (Negative ACKnowledgement) を示す H A R Q インディケータ (H A R Q フィードバック、応答情報) を送信するために用いられる。例えば、移動局装置1が A C K を示す H A R Q インディケータを受信した場合は、対応する上りリンクデータを再送しない。例えば、移動局装置1が N A C K を示す H A R Q インディケータを受信した場合は、対応する上りリンクデータを再送する。単一の P H I C H は、単一の上りリンクデータに対する H A R Q インディケータを送信する。基地局装置3は、同一の P U S C H に含まれる複数の上りリンクデータに対する H A R Q インディケータのそれぞれを複数の P H I C H を用いて送信する。

[0039] P D C C H および E P D C C H は、下りリンク制御情報 (Downlink Control Information: DCI) を送信するために用いられる。下りリンク制御情報を、D C I フォーマットとも称する。下りリンク制御情報は、下りリンクグラント (downlink assignment ; または下りリンクアサインメント「downlink assignment」) とも称する。) および上りリンクグラント (uplink grant) を含む。下りリンクグラントは、単一のセル内の単一の P D S C H のスケジューリングに用いられる下りリンク制御情報である。下りリンクグラントは、該下りリンクグラントが送信されたサブフレームと同じサブフレーム内の P D S C H のスケジューリングに用いられる。上りリンクグラントは、単一のセル内の単一の P U S C H のスケジューリングに用いられる下りリンク制御情報である。上りリンクグラントは、該上りリンクグラントが送信されたサブフレームよりも4つ以上後のサブフレーム内の単一の P U S C H のスケジューリングに用いられる。

[0040] D C I フォーマットには、C R C (Cyclic Redundancy Check) パリティビットが付加される。C R C パリティビットは、C - R N T I (Cell-Radio Network Temporary Identifier) 、または、S P S C - R N T I (Semi Pers

istent Scheduling Cell-Radio Network Temporary Identifier) でスクランブルされる。C-RNTI および SPS C-RNTI は、セル内において移動局装置を識別するための識別子である。

[0041] C-RNTI は、単一のサブフレームにおける PDSCH または PUSCH を制御するために用いられる。SPS C-RNTI は、PDSCH または PUSCH のリソースを周期的に割り当てるために用いられる。

[0042] PDSCH は、下りリンクデータ (Downlink Shared CHannel: DL-SCH) を送信するために用いられる。

[0043] 図 1 において、下りリンクの無線通信では、以下の下りリンク物理信号が用いられる。下りリンク物理信号は、上位層から出力された情報を送信するために使用されないが、物理層によって使用される。

- ・同期信号 (Synchronization Signal: SS)
- ・下りリンク参照信号 (Downlink Reference Signal: DL RS)

[0044] 同期信号は、移動局装置 1 が下りリンクの周波数領域および時間領域の同期をとるために用いられる。下りリンク参照信号は、移動局装置 1 が下りリンク物理チャネルの伝搬路補正を行なうために用いられる。下りリンク参照信号は、移動局装置 1 が下りリンクのチャネル状態情報を算出するために用いられる。TDD 方式において、同期信号は無線フレーム内のサブフレーム 0、1、5、6 のみに配置される。FDD 方式において、同期信号は無線フレーム内のサブフレーム 0 と 5 のみに配置される。

[0045] 本実施形態において、以下の 5 つのタイプの下りリンク参照信号が用いられる。

- ・CRS (Cell-specific Reference Signal)
- ・PDSCH に関連する URS (UE-specific Reference Signal)
- ・EPDCCCH に関連する DMRS (DeModulation Reference Signal)
- ・NZP CSI-RS (Non-Zero Power Channel State Information Reference Signal)
- ・ZP CSI-RS (Zero Power Channel State Information Reference S

ignal)

- [0046] CRSは、全てのサブフレームで送信される。CRSは、PBCH/PDCCH/PHICH/PCFICH/PDSCHの復調を行なうために用いられる。CRSは、移動局装置1が下りリンクのチャネル状態情報を算出するために用いられてもよい。PBCH/PDCCH/PHICH/PCFICHは、CRSの送信に用いられるアンテナポートで送信される。
- [0047] PDSCHに関連するURSは、URSが関連するPDSCHの送信に用いられるサブフレームおよび帯域で送信される。URSは、URSが関連するPDSCHの復調を行なうために用いられる。
- [0048] PDSCHは、CRSまたはURSの送信に用いられるアンテナポートで送信される。DCIフォーマット1Aは、CRSの送信に用いられるアンテナポートで送信されるPDSCHのスケジューリングに用いられる。DCIフォーマット2Dは、URSの送信に用いられるアンテナポートで送信されるPDSCHのスケジューリングに用いられる。
- [0049] EPDCCHに関連するDMRSは、DMRSが関連するEPDCCHの送信に用いられるサブフレームおよび帯域で送信される。DMRSは、DMRSが関連するEPDCCHの復調を行なうために用いられる。EPDCCHは、DMRSの送信に用いられるアンテナポートで送信される。
- [0050] NZP CSI-RSは、設定されたサブフレームで送信される。NZP CSI-RSが送信されるリソースは、基地局装置が設定する。NZP CSI-RSは、移動局装置1が下りリンクのチャネル状態情報を算出するために用いられる。
- [0051] ZP CSI-RSのリソースは、基地局装置が設定する。基地局装置は、ZP CSI-RSを送信しない。基地局装置は、ZP CSI-RSの設定したリソースにおいて、PDSCHおよびEPDCCHを送信しない。例えば、あるセルにおいてNZP CSI-RSが送信されるリソースを、隣接するセルにおけるZP CSI-RSのリソースに設定することで、移動局装置は隣接するセルからの干渉がない該あるセルにおけるCSI-RS

を用いてチャネル状態情報を測定することができる。

[0052] 下りリンク物理チャネルおよび下りリンク物理信号を総称して、下りリンク信号と称する。上りリンク物理チャネルおよび上りリンク物理信号を総称して、上りリンク信号と称する。下りリンク物理チャネルおよび上りリンク物理チャネルを総称して、物理チャネルと称する。下りリンク物理信号および上りリンク物理信号を総称して、物理信号と称する。

[0053] B C H、U L - S C HおよびD L - S C Hは、トランスポートチャネルである。媒体アクセス制御 (Medium Access Control: MAC) 層で用いられるチャネルをトランスポートチャネルと称する。M A C層で用いられるトランスポートチャネルの単位を、トランスポートブロック (Transport Block: TB) またはM A C P D U (Protocol Data Unit) とも称する。M A C層においてトランスポートブロック毎にH A R Q (Hybrid Automatic Repeat reQuest) の制御が行なわれる。トランスポートブロックは、M A C層が物理層に渡す (deliver) データの単位である。物理層において、トランスポートブロックはコードワードにマップされ、コードワード毎に符号化処理が行なわれる。

[0054] 以下、本実施形態の無線フレーム (radio frame) の構成について説明する。

[0055] 図2は、本実施形態の無線フレームの概略構成を示す図である。無線フレームのそれぞれは、10ms長である。また、無線フレームのそれぞれは2つのハーフフレームから構成される。ハーフフレームのそれぞれは、5ms長である。ハーフフレームのそれぞれは、5のサブフレームから構成される。サブフレームのそれぞれは、1ms長であり、2つの連続するスロットによって定義される。スロットのそれぞれは、0.5ms長である。無線フレーム内の*i*番目のサブフレームは、(2×*i*)番目のスロットと(2×*i*+1)番目のスロットとから構成される。つまり、10ms間隔のそれぞれにおいて、10個のサブフレームが利用できる。

[0056] 本実施形態では、以下の3つのタイプのサブフレームを定義する。

- ・ 下りリンクサブフレーム（第1のサブフレーム）
- ・ 上りリンクサブフレーム（第2のサブフレーム）
- ・ スペシャルサブフレーム（第3のサブフレーム）

[0057] 下りリンクサブフレームは下りリンク送信のためにリザーブされるサブフレームである。上りリンクサブフレームは上りリンク送信のためにリザーブされるサブフレームである。スペシャルサブフレームは3つのフィールドから構成される。該3つのフィールドは、DwPTS (Downlink Pilot Time Slot)、GP (Guard Period)、およびUpPTS (Uplink Pilot Time Slot) である。DwPTS、GP、およびUpPTSの合計の長さは1msである。DwPTSは下りリンク送信のためにリザーブされるフィールドである。UpPTSは上りリンク送信のためにリザーブされるフィールドである。GPは下りリンク送信および上りリンク送信が行なわれないフィールドである。尚、スペシャルサブフレームは、DwPTSおよびGPのみによって構成されてもよいし、GPおよびUpPTSのみによって構成されてもよい。

[0058] 単一の無線フレームは、少なくとも下りリンクサブフレーム、上りリンクサブフレーム、およびスペシャルサブフレームから構成される。

[0059] 本実施形態の無線通信システムは、5msと10msの下りリンク - 上りリンク・スイッチポイント周期 (downlink-to-uplink switch-point periodicity) をサポートする。downlink-to-uplink switch-point periodicityが5msの場合には、無線フレーム内の両方のハーフフレームにスペシャルサブフレームが含まれる。downlink-to-uplink switch-point periodicityが10msの場合には、無線フレーム内の最初のハーフフレームのみにスペシャルサブフレームが含まれる。

[0060] 以下、本実施形態のスロットの構成について説明する。

[0061] 図3は、本実施形態のスロットの構成を示す図である。スロットのそれぞれにおいて送信される物理信号または物理チャネルは、リソースグリッドによって表現される。下りリンクにおいて、リソースグリッドは複数のサブキャリアと複数のOFDMシンボルによって定義される。上りリンクにおいて

、リソースグリッドは複数のサブキャリアと複数のSC-FDMAシンボルによって定義される。1つのスロットを構成するサブキャリアの数は、セルの帯域幅に依存する。1つのスロットを構成するOFDMシンボルまたはSC-FDMAシンボルの数は7である。リソースグリッド内のエレメントのそれぞれをリソースエレメントと称する。リソースエレメントは、サブキャリアの番号とOFDMシンボルまたはSC-FDMAシンボルの番号とを用いて識別する。

[0062] リソースブロックは、ある物理チャネル（PDSCHまたはPUSCHなど）のリソースエレメントへのマッピングを表現するために用いられる。リソースブロックは、仮想リソースブロックと物理リソースブロックが定義される。ある物理チャネルは、まず仮想リソースブロックにマップされる。その後、仮想リソースブロックは、物理リソースブロックにマップされる。1つの物理リソースブロックは、時間領域において7個の連続するOFDMシンボルまたはSC-FDMAシンボルと周波数領域において12個の連続するサブキャリアとから定義される。ゆえに、1つの物理リソースブロックは（ 7×12 ）個のリソースエレメントから構成される。また、1つの物理リソースブロックは、時間領域において1つのスロットに対応し、周波数領域において180kHzに対応する。物理リソースブロックは周波数領域において0から番号が付けられる。

[0063] 以下、サブフレームのそれぞれにおいて送信される物理チャネルおよび物理信号について説明する。

[0064] 図4は、本実施形態の下りリンクサブフレームにおける物理チャネルおよび物理信号の配置の一例を示す図である。基地局装置3は、下りリンクサブフレームにおいて、下りリンク物理チャネル（PBCH、PCFICH、PHICH、PDCCH、EPDCCH、PDSCH）、および下りリンク物理信号（同期信号、下りリンク参照信号）を送信してもよい。尚、PBCHは無線フレーム内のサブフレーム0のみで送信される。尚、下りリンク参照信号は周波数領域および時間領域において分散するリソースエレメントに配

置される。説明の簡略化のため図4において下りリンク参照信号は図示しない。

[0065] P D C C H領域において、複数のP D C C Hが周波数および時間多重されてもよい。E P D C C H領域において、複数のE P D C C Hが周波数、時間、および空間多重されてもよい。P D S C H領域において、複数のP D S C Hが周波数および空間多重されてもよい。P D C C HとP D S C HまたはE P D C C Hは時間多重されてもよい。P D S C HとE P D C C Hは周波数多重されてもよい。

[0066] 図5は、本実施形態の上りリンクサブフレームにおける物理チャネルおよび物理信号の配置の一例を示す図である。移動局装置1は、上りリンクサブフレームにおいて、上りリンク物理チャネル（P U C C H、P U S C H、P R A C H）、および上りリンク物理信号（D M R S、S R S）を送信してもよい。P U C C H領域において、複数のP U C C Hが周波数、時間、および符号多重される。P U S C H領域において、複数のP U S C Hが周波数および空間多重されてもよい。P U C C HとP U S C Hは周波数多重されてもよい。P R A C Hは単一のサブフレームまたは2つのサブフレームにわたって配置されてもよい。また、複数のP R A C Hが符号多重されてもよい。

[0067] S R Sは上りリンクサブフレーム内の最後のS C - F D M Aシンボルを用いて送信される。つまり、S R Sは上りリンクサブフレーム内の最後のS C - F D M Aシンボルに配置される。移動局装置1は、単一のセルの単一のS C - F D M Aシンボルにおいて、S R SとP U C C H／P U S C H／P R A C Hを同時に送信することはできない。移動局装置1は、単一のセルの単一の上りリンクサブフレームにおいて、該上りリンクサブフレーム内の最後のS C - F D M Aシンボルを除くS C - F D M Aシンボルを用いてP U S C Hおよび／またはP U C C Hを送信し、該上りリンクサブフレーム内の最後のS C - F D M Aシンボルを用いてS R Sを送信することができる。つまり、単一のセルの単一の上りリンクサブフレームにおいて、移動局装置1は、S R SとP U S C H／P U C C Hの両方を送信することができる。尚、D M R

SはPUCCHまたはPUSCHと時間多重される。説明の簡略化のため図5においてDMRSは図示しない。

[0068] 図6は、本実施形態のスペシャルサブフレームにおける物理チャネルおよび物理信号の配置の一例を示す図である。図6において、DwPTSはスペシャルサブフレーム内の1番目から9番目のSC-FDMAシンボルから構成され、GPはスペシャルサブフレーム内の10番目から12番目のSC-FDMAシンボルから構成され、UpPTSはスペシャルサブフレーム内の13番目と14番目のSC-FDMAシンボルから構成される。

[0069] 基地局装置3は、スペシャルサブフレームのDwPTSにおいて、PCFICH、PHICH、PDCCH、EPDCCH、PDSCH、同期信号、および、下りリンク参照信号を送信してもよい。基地局装置3は、スペシャルサブフレームのDwPTSにおいて、PBCHを送信しない。移動局装置1は、スペシャルサブフレームのUpPTSにおいて、PRACH、およびSRSを送信してもよい。つまり、移動局装置1は、スペシャルサブフレームのUpPTSにおいて、PUCCH、PUSCH、およびDMRSを送信しない。

[0070] 以下、本発明の第1の実施形態について説明する。

[0071] 図7は、本実施形態の移動局装置1の構成を示す概略ブロック図である。図示するように、移動局装置1は、上位層処理部101、制御部103、受信部105、送信部107と送受信アンテナ109を含んで構成される。また、上位層処理部101は、無線リソース制御部1011、サブフレーム設定部1013とスケジューリング情報解釈部1015を含んで構成される。また、受信部105は、復号化部1051、復調部1053、多重分離部1055、無線受信部1057とチャネル測定部1059を含んで構成される。また、送信部107は、符号化部1071、変調部1073、多重部1075、無線送信部1077と上りリンク参照信号生成部1079を含んで構成される。

[0072] 上位層処理部101は、ユーザの操作等により生成された上りリンクデー

タ（トランスポートブロック）を、送信部１０７に出力する。また、上位層処理部１０１は、媒体アクセス制御（MAC: Medium Access Control）層、パケットデータ統合プロトコル（Packet Data Convergence Protocol: PDCP）層、無線リンク制御（Radio Link Control: RLC）層、無線リソース制御（Radio Resource Control: RRC）層の処理を行なう。

[0073] 上位層処理部１０１が備える無線リソース制御部１０１１は、自装置の各種設定情報の管理をする。また、無線リソース制御部１０１１は、上りリンクの各チャネルに配置される情報を生成し、送信部１０７に出力する。

[0074] 上位層処理部１０１が備えるサブフレーム設定部１０１３は、上りリンク参照設定（Uplink reference configuration）、下りリンク参照設定（Downlink reference configuration）、および、送信方向設定（transmission direction configuration）の管理をする。サブフレーム設定部１０１３は、受信部１０５を介して受信した上りリンク参照設定を示す第１の情報に従って上りリンク参照設定をセットし、受信部１０５を介して受信した下りリンク参照設定を示す第２の情報に従って下りリンク参照設定をセットし、受信部１０５を介して受信した送信方向設定を示す第３の情報に従って送信方向設定をセットする。以下、上りリンク参照設定を第１の設定、下りリンク参照設定を第２の設定、送信方向設定を第３の設定とも称する。

[0075] 上位層処理部１０１が備えるスケジューリング情報解釈部１０１５は、受信部１０５を介して受信したＤＣＩフォーマット（スケジューリング情報）の解釈をし、前記ＤＣＩフォーマットを解釈した結果に基づき、受信部１０５、および送信部１０７の制御を行なうために制御情報を生成し、制御部１０３に出力する。スケジューリング情報解釈部１０１５は、さらに、上りリンク参照設定および／または下りリンク参照設定および／または送信方向設定に基づいて、送信処理および受信処理を行なうタイミングを決定する。

[0076] 制御部１０３は、上位層処理部１０１からの制御情報に基づいて、受信部１０５、および送信部１０７の制御を行なう制御信号を生成する。制御部１０３は、生成した制御信号を受信部１０５、および送信部１０７に出力して

受信部 105、および送信部 107 の制御を行なう。

[0077] 受信部 105 は、制御部 103 から入力された制御信号に従って、送受信アンテナ 109 を介して基地局装置 3 から受信した受信信号を、分離、復調、復号し、復号した情報を上位層処理部 101 に出力する。

[0078] 無線受信部 1057 は、送受信アンテナ 109 を介して受信した下りリンクの信号を、中間周波数に変換し（ダウンコンバート：down covert）、不要な周波数成分を除去し、信号レベルが適切に維持されるように増幅レベルを制御し、受信した信号の同相成分および直交成分に基づいて、直交復調し、直交復調されたアナログ信号をデジタル信号に変換する。無線受信部 1057 は、変換したデジタル信号からガードインターバル（Guard Interval：GI）に相当する部分を除去し、ガードインターバルを除去した信号に対して高速フーリエ変換（Fast Fourier Transform：FFT）を行ない、周波数領域の信号を抽出する。

[0079] 多重分離部 1055 は、抽出した信号を PHICH、PDCCH、EPDCCH、PDSCH、および下りリンク参照信号に、それぞれ分離する。また、多重分離部 1055 は、チャネル測定部 1059 から入力された伝搬路の推定値から、PHICH、PDCCH、EPDCCH、および PDSCH の伝搬路の補償を行なう。また、多重分離部 1055 は、分離した下りリンク参照信号をチャネル測定部 1059 に出力する。

[0080] 復調部 1053 は、PHICH に対して対応する符号を乗算して合成し、合成した信号に対して BPSK（Binary Phase Shift Keying）変調方式の復調を行ない、復号化部 1051 へ出力する。復号化部 1051 は、自装置宛ての PHICH を復号し、復号した HARQ インディケータを上位層処理部 101 に出力する。復調部 1053 は、PDCCH および／または EPDCCH に対して、QPSK 変調方式の復調を行ない、復号化部 1051 へ出力する。復号化部 1051 は、PDCCH および／または EPDCCH の復号を試み、復号に成功した場合、復号した下りリンク制御情報と下りリンク制御情報が対応する RNTI とを上位層処理部 101 に出力する。

- [0081] 復調部1053は、PDSCHに対して、QPSK (Quadrature Phase Shift Keying)、16QAM (Quadrature Amplitude Modulation)、64QAM等の下りリンクグラントで通知された変調方式の復調を行ない、復号化部1051へ出力する。復号化部1051は、下りリンク制御情報で通知された符号化率に関する情報に基づいて復号を行ない、復号した下りリンクデータ（トランスポートブロック）を上位層処理部101へ出力する。
- [0082] チャネル測定部1059は、多重分離部1055から入力された下りリンク参照信号から下りリンクのパスロスやチャネルの状態を測定し、測定したパスロスやチャネルの状態を上位層処理部101へ出力する。また、チャネル測定部1059は、下りリンク参照信号から下りリンクの伝搬路の推定値を算出し、多重分離部1055へ出力する。
- [0083] 送信部107は、制御部103から入力された制御信号に従って、上りリンク参照信号を生成し、上位層処理部101から入力された上りリンクデータ（トランスポートブロック）を符号化および変調し、PUCCH、PUSCH、および生成した上りリンク参照信号を多重し、送受信アンテナ109を介して基地局装置3に送信する。
- [0084] 符号化部1071は、上位層処理部101から入力された上りリンク制御情報を畳込み符号化、ブロック符号化等の符号化を行なう。また、符号化部1071は、PUSCHのスケジューリングに用いられる情報に基づきターボ符号化を行なう。
- [0085] 変調部1073は、符号化部1071から入力された符号化ビットをBPSK、QPSK、16QAM、64QAM等の下りリンク制御情報で通知された変調方式または、チャネル毎に予め定められた変調方式で変調する。変調部1073は、PUSCHのスケジューリングに用いられる情報に基づき、空間多重されるデータの系列の数を決定し、MIMO-SM (Multiple Input Multiple Output Spatial Multiplexing) を用いることにより同一のPUSCHで送信される複数の上りリンクデータを、複数の系列にマッピングし、この系列に対してプレコーディング (precoding) を行なう。

[0086] 上りリンク参照信号生成部 1079 は、基地局装置 3 を識別するための物理セル識別子 (physical cell identity: PCI、Cell ID などと称する。)、上りリンク参照信号を配置する帯域幅、上りリンクグラントで通知されたサイクリックシフト、DMRS シーケンスの生成に対するパラメータの値などを基に、予め定められた規則 (式) で求まる系列を生成する。多重部 1075 は、制御部 103 から入力された制御信号に従って、PUSCH の変調シンボルを並列に並び替えてから離散フーリエ変換 (Discrete Fourier Transform: DFT) する。また、多重部 1075 は、PUCCH と PUSCH の信号と生成した上りリンク参照信号を送信アンテナポート毎に多重する。つまり、多重部 1075 は、PUCCH と PUSCH の信号と生成した上りリンク参照信号を送信アンテナポート毎にリソースエレメントに配置する。

[0087] 無線送信部 1077 は、多重された信号を逆高速フーリエ変換 (Inverse Fast Fourier Transform: IFFT) して、SC-FDMA 方式の変調を行ない、SC-FDMA 変調された SC-FDMA シンボルにガードインターバルを付加し、ベースバンドのデジタル信号を生成し、ベースバンドのデジタル信号をアナログ信号に変換し、アナログ信号から中間周波数の同相成分および直交成分を生成し、中間周波数帯域に対する余分な周波数成分を除去し、中間周波数の信号を高周波数の信号に変換 (アップコンバート: up convert) し、余分な周波数成分を除去し、電力増幅し、送受信アンテナ 109 に出力して送信する。

[0088] 図 8 は、本実施形態の基地局装置 3 の構成を示す概略ブロック図である。図示するように、基地局装置 3 は、上位層処理部 301、制御部 303、受信部 305、送信部 307、および、送受信アンテナ 309、を含んで構成される。また、上位層処理部 301 は、無線リソース制御部 3011、サブフレーム設定部 3013 とスケジューリング部 3015 とを含んで構成される。また、受信部 305 は、復号化部 3051、復調部 3053、多重分離部 3055、無線受信部 3057 とチャネル測定部 3059 を含んで構成される。また、送信部 307 は、符号化部 3071、変調部 3073、多重部

3075、無線送信部3077と下りリンク参照信号生成部3079を含んで構成される。

[0089] 上位層処理部301は、媒体アクセス制御（MAC: Medium Access Control）層、パケットデータ統合プロトコル（Packet Data Convergence Protocol: PDCP）層、無線リンク制御（Radio Link Control: RLC）層、無線リソース制御（Radio Resource Control: RRC）層の処理を行なう。また、上位層処理部301は、受信部305、および送信部307の制御を行なうために制御情報を生成し、制御部303に出力する。

[0090] 上位層処理部301が備える無線リソース制御部3011は、下りリンクのPDSCHに配置される下りリンクデータ（トランスポートブロック）、システムインフォメーション、RRCメッセージ、MAC CE（Control Element）などを生成し、又は上位ノードから取得し、送信部307に出力する。また、無線リソース制御部3011は、移動局装置1各々の各種設定情報の管理をする。

[0091] 上位層処理部301が備えるサブフレーム設定部3013は、上りリンク参照設定（Uplink reference configuration）、下りリンク参照設定（Downlink reference configuration）、および、送信方向設定（transmission direction configuration）の管理を、移動局装置1のそれぞれに対して行なう。

[0092] サブフレーム設定部3013は、上りリンク参照設定を示す第1の情報、下りリンク参照設定を示す第2の情報、送信方向設定を示す第3の情報を生成する。サブフレーム設定部3013は、送信部307を介して、第1の情報、第2の情報、および、第3の情報を、移動局装置1に送信する。

[0093] 基地局装置3は、移動局装置1に対する、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および／または、送信方向設定を決定してもよい。また、基地局装置3は、移動局装置1に対する、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および／または、送信方向設定を上位ノードから指示されてもよい。

[0094] 例えば、サブフレーム設定部3013は、上りリンクのトラフィック量お

よび下りリンクのトラフィック量に基づいて、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および／または、送信方向設定を決定してもよい。

[0095] 上位層処理部301が備えるスケジューリング部3015は、チャネル測定部3059から入力された伝搬路の推定値やチャネルの品質などから、物理チャネル（PDSCHおよびPUSCH）を割り当てる周波数およびサブフレーム、物理チャネル（PDSCHおよびPUSCH）の符号化率および変調方式および送信電力などを決定する。スケジューリング部3015は、フレキシブルサブフレームにおいて下りリンク物理チャネルおよび／または下りリンク物理信号をスケジュールするか、上りリンク物理チャネルおよび／または上りリンク物理信号をスケジュールするかを決定する。スケジューリング部3015は、スケジューリング結果に基づき、受信部305、および送信部307の制御を行なうために制御情報（例えば、DCIフォーマット）を生成し、制御部303に出力する。

[0096] スケジューリング部3015は、スケジューリング結果に基づき、物理チャネル（PDSCHおよびPUSCH）のスケジューリングに用いられる情報を生成する。スケジューリング部3015は、さらに、上りリンク参照設定および／または下りリンク参照設定および／または送信方向設定に基づいて、送信処理および受信処理を行なうタイミングを決定する。

[0097] 制御部303は、上位層処理部301からの制御情報に基づいて、受信部305、および送信部307の制御を行なう制御信号を生成する。制御部303は、生成した制御信号を受信部305、および送信部307に出力して受信部305、および送信部307の制御を行なう。

[0098] 受信部305は、制御部303から入力された制御信号に従って、送受信アンテナ309を介して移動局装置1から受信した受信信号を分離、復調、復号し、復号した情報を上位層処理部301に出力する。無線受信部3057は、送受信アンテナ309を介して受信された上りリンクの信号を、中間周波数に変換し（ダウンコンバート：down covert）、不要な周波数成分を除去し、信号レベルが適切に維持されるように増幅レベルを制御し、受信され

た信号の同相成分および直交成分に基づいて、直交復調し、直交復調されたアナログ信号をデジタル信号に変換する。

[0099] 無線受信部3057は、変換したデジタル信号からガードインターバル (Guard Interval: GI) に相当する部分を除去する。無線受信部3057は、ガードインターバルを除去した信号に対して高速フーリエ変換 (Fast Fourier Transform: FFT) を行ない、周波数領域の信号を抽出し多重分離部3055に出力する。

[0100] 多重分離部1055は、無線受信部3057から入力された信号をPUCCH、PUSCH、上りリンク参照信号などの信号に分離する。尚、この分離は、予め基地局装置3が無線リソース制御部3011で決定し、各移動局装置1に通知した上りリンクグラントに含まれる無線リソースの割り当て情報に基づいて行なわれる。また、多重分離部3055は、チャネル測定部3059から入力された伝搬路の推定値から、PUCCHとPUSCHの伝搬路の補償を行なう。また、多重分離部3055は、分離した上りリンク参照信号をチャネル測定部3059に出力する。

[0101] 復調部3053は、PUSCHを逆離散フーリエ変換 (Inverse Discrete Fourier Transform: IDFT) し、変調シンボルを取得し、PUCCHとPUSCHの変調シンボルそれぞれに対して、BPSK (Binary Phase Shift Keying)、QPSK、16QAM、64QAM等の予め定められた、または自装置が移動局装置1各々に上りリンクグラントで予め通知した変調方式を用いて受信信号の復調を行なう。復調部3053は、移動局装置1各々に上りリンクグラントで予め通知した空間多重される系列の数と、この系列に対して行なうプリコーディングを指示する情報に基づいて、MIMO-SMを用いることにより同一のPUSCHで送信された複数の上りリンクデータの変調シンボルを分離する。

[0102] 復号化部3051は、復調されたPUCCHとPUSCHの符号化ビットを、予め定められた符号化方式の、予め定められた、又は自装置が移動局装置1に上りリンクグラントで予め通知した符号化率で復号を行ない、復号し

た上りリンクデータと、上りリンク制御情報を上位層処理部 101 へ出力する。PUSCH が再送信の場合は、復号化部 3051 は、上位層処理部 301 から入力される HARQ バッファに保持している符号化ビットと、復調された符号化ビットを用いて復号を行なう。チャネル測定部 309 は、多重分離部 3055 から入力された上りリンク参照信号から伝搬路の推定値、チャネルの品質などを測定し、多重分離部 3055 および上位層処理部 301 に出力する。

[0103] 送信部 307 は、制御部 303 から入力された制御信号に従って、下りリンク参照信号を生成し、上位層処理部 301 から入力された HARQ インデキータ、下りリンク制御情報、下りリンクデータを符号化、および変調し、PHICH、PDCCH、EPDCCH、PDSCH、および下りリンク参照信号を多重して、送受信アンテナ 309 を介して移動局装置 1 に信号を送信する。

[0104] 符号化部 3071 は、上位層処理部 301 から入力された HARQ インデキータ、下りリンク制御情報、および下りリンクデータを、ブロック符号化、畳込み符号化、ターボ符号化等の予め定められた符号化方式を用いて符号化を行なう、または無線リソース制御部 3011 が決定した符号化方式を用いて符号化を行なう。変調部 3073 は、符号化部 3071 から入力された符号化ビットを BPSK、QPSK、16QAM、64QAM 等の予め定められた、または無線リソース制御部 3011 が決定した変調方式で変調する。

[0105] 下りリンク参照信号生成部 3079 は、基地局装置 3 を識別するための物理セル識別子 (PCI) などを基に予め定められた規則で求まる、移動局装置 1 が既知の系列を下りリンク参照信号として生成する。多重部 3075 は、変調された各チャネルの変調シンボルと生成された下りリンク参照信号を多重する。つまり、多重部 3075 は、変調された各チャネルの変調シンボルと生成された下りリンク参照信号をリソースエレメントに配置する。

[0106] 無線送信部 3077 は、多重された変調シンボルなどを逆高速フーリエ変

換 (Inverse Fast Fourier Transform: IFFT) して、OFDM方式の変調を行ない、OFDM変調されたOFDMシンボルにガードインターバルを付加し、ベースバンドのデジタル信号を生成し、ベースバンドのデジタル信号をアナログ信号に変換し、アナログ信号から中間周波数の同相成分および直交成分を生成し、中間周波数帯域に対する余分な周波数成分を除去し、中間周波数の信号を高周波数の信号に変換 (アップコンバート: up convert) し、余分な周波数成分を除去し、電力増幅し、送受信アンテナ 309 に出力して送信する。

- [0107] 下りリンク参照設定、上りリンク参照設定、および、送信方向設定は、上りリンク - 下りリンク設定 (uplink - downlink configuration, UL - DL configuration) によって定義される。uplink - downlink configurationは、無線フレーム内におけるサブフレームのパターンに関する設定である。つまり、下りリンク参照設定、上りリンク参照設定、および、送信方向設定は、無線フレーム内における下りリンクサブフレーム、上りリンクサブフレーム、および、スペシャルサブフレームのパターンによって定義される。
- [0108] 上りリンク参照設定を、上りリンク参照UL-DL設定 (uplink reference uplink - downlink configuration)、または、第1のパラメータとも称する。下りリンク参照設定を、下りリンク参照UL-DL設定 (downlink reference uplink - downlink configuration)、または、第2のパラメータとも称する。送信方向設定を、送信方向UL-DL設定 (transmission direction uplink - downlink configuration)、または、第3のパラメータとも称する。
- [0109] 図9は、本実施形態におけるuplink - downlink configurationの一例を示す表である。図9において、Dは下りリンクサブフレームを示し、Uは上りリンクサブフレームを示し、Sはスペシャルサブフレームを示す。
- [0110] 図9において、無線フレーム内のサブフレーム1は、常にスペシャルサブフレームである。図9において、サブフレーム0と5は常に下りリンク送信のためにリザーブされ、サブフレーム1は常に上りリンク送信のためにリザ

ープされる。

[0111] 図9において、downlink - to - uplink switch - point periodicityが5 m s の場合に、無線フレーム内のサブフレーム6はスペシャルサブフレームであり、downlink - to - uplink switch - point periodicityが10 m s の場合に、無線フレーム内のサブフレーム6は下りリンクサブフレームである。

[0112] 上りリンク参照設定としてuplink - downlink configuration iがセットされることを、上りリンク参照設定iがセットされると称する。下りリンク参照設定としてuplink - downlink configuration iがセットされることを、下りリンク参照設定iがセットされると称する。送信方向設定としてuplink - downlink configuration iがセットされることを、送信方向設定iがセットされると称する。

[0113] 基地局装置3は、上りリンク参照設定を示す第1の情報（TDD-Config）、下りリンク参照設定を示す第2の情報、および、送信方向設定を示す第3の情報は、MIB、システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージ、システムインフォメーションメッセージ、RRCメッセージ、MAC CE（Control Element）、および、物理層の制御情報（例えば、DCIフォーマット）の少なくとも1つに含めて送信してもよい。また、基地局装置3は、状況に応じて、第1の情報、第2の情報、および、第3の情報を、MIB、システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージ、システムインフォメーションメッセージ、RRCメッセージ、MAC CE（Control Element）、および、物理層の制御情報（例えば、DCIフォーマット）の何れかに含めてもよい。

[0114] 移動局装置1は、第1の情報、第2の情報、および、第3の情報を受信する。移動局装置1は、受信した第1の情報が示すuplink - downlink configurationを上りリンク参照設定にセットする。移動局装置1は、受信した第2の情報が示すuplink - downlink configurationを下りリンク参照設定にセットする。移動局装置1は、受信した第3の情報が示すuplink - downlink con

figurationを送信方向設定にセットする。第1の情報を第1のパラメータを示す情報とも称する。第2の情報を第2のパラメータを示す情報とも称する。第3の情報を第3のパラメータを示す情報とも称する。

- [0115] 尚、2つのセルが設定された移動局装置1は、あるセルに対する第1の情報と、他のセルに対する第1の情報を受信してもよい。また、2つのセルが設定された移動局装置1は、あるセルに対する第1の情報が示すuplink - downlink configuration、および、他のセルに対する第1の情報が示すuplink - downlink configurationに基づいて、あるセルに対する上りリンク参照設定を決定してもよい。
- [0116] 尚、2つのセルが設定された移動局装置1は、あるセルに対する第2の情報が示すuplink - downlink configuration、および、他のセルに対する第2の情報が示すuplink - downlink configurationに基づいて、あるセルに対する下りリンク参照設定を決定してもよい。
- [0117] 尚、2つのセルが設定された移動局装置1は、あるセルに対する第1の情報が示すuplink - downlink configuration、および、他のセルに対する第2の情報が示すuplink - downlink configurationに基づいて、あるセルに対する下りリンク参照設定を決定してもよい。
- [0118] 尚、2つのセルが設定された移動局装置1は、あるセルに対する第2の情報が示すuplink - downlink configuration、および、他のセルに対する第1の情報が示すuplink - downlink configurationに基づいて、あるセルに対する下りリンク参照設定を決定してもよい。
- [0119] 上りリンク参照設定を示す第1の情報は、システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージに含まれることが好ましい。下りリンク参照設定を示す第2の情報は、システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージ、システムインフォメーションメッセージ、または、RRCメッセージに含まれることが好ましい。送信方向設定を示す第3の情報は、MIB、MAC CEまたは物理層の制御情報（例えば、DCIフォーマット）に含まれることが好ましい。

- [0120] 上りリンク参照設定を示す第1の情報は、セル内の複数の移動局装置1に対して共通であることが好ましい。下りリンク参照設定を示す第2の情報は、セル内の複数の移動局装置1に対して共通であってもよいし、移動局装置1に対して専用であってもよい。送信方向設定を示す第3の情報は、セル内の複数の移動局装置1に対して共通であってもよいし、移動局装置1に対して専用であってもよい。
- [0121] 下りリンク参照設定を示す第2の情報は、上りリンク参照設定を示す第1の情報とともに送信されてもよい。下りリンク参照設定をセットしていない移動局装置1は、送信方向設定を示す第3の情報を受信しなくてもよい。
- [0122] 送信方向設定を変更する周期は、下りリンク参照設定を変更する周期よりも短いほうが好ましい。送信方向設定を変更する頻度は、下りリンク参照設定を変更する頻度よりも少ないほうが好ましい。下りリンク参照設定を変更する周期は、上りリンク参照設定を変更する周期よりも短いほうが好ましい。下りリンク参照設定を変更する頻度は、上りリンク参照設定を変更する頻度よりも少ないほうが好ましい。
- [0123] システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージは、 $SFN \bmod 2 = 0$ を満たす無線フレームのサブフレーム5においてPDSCHを介して伝送される。システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージは、スペシャルサブフレームの構成(DwPTS、GP、およびUpPTSの長さ)を示す情報を含む。システムインフォメーションブロックタイプ1メッセージは、セル固有の情報である。
- [0124] システムインフォメーションメッセージは、PDSCHを介して伝送される。システムインフォメーションメッセージは、セル固有の情報である。システムインフォメーションメッセージは、システムインフォメーションブロックタイプ1以外のシステムインフォメーションブロックを含む。
- [0125] RRCメッセージはPDSCHを介して伝送される。RRCメッセージは、RRC層において処理される情報/信号である。RRCメッセージは、特定の移動局装置1に対して専用であってもよい。

- [0126] MAC CEはPDSCHを介して送信される。MAC CEは、MAC層において処理される情報／信号である。
- [0127] 移動局装置1は、第1の情報／第2の情報および／または第3の情報を含むRRCメッセージを、PDSCHを介して受信した場合、該RRCメッセージに対応するRRCConnectionReconfigurationCompleteメッセージを送信するサブフレーム（タイミング）において上りリンク参照設定／下りリンク参照設定および／または送信方向設定をセットする（有効にする）ことが好ましい。
- [0128] 移動局装置1は、サブフレーム $n-k$ において第1の情報／第2の情報および／または第3の情報を含むMIBを、PBCHを介して受信した場合、サブフレーム n において上りリンク参照設定／下りリンク参照設定および／または送信方向設定をセットする（有効にする）ことが好ましい。例えば、 k は4である。例えば、 k は図13の表および上りリンク参照設定／下りリンク参照設定に基づいて決定される。図13の説明は後述する。
- [0129] 移動局装置1は、サブフレーム $n-k$ において第1の情報／第2の情報および／または第3の情報を含むMAC CEを、PDSCHを介して受信した場合、サブフレーム n において上りリンク参照設定／下りリンク参照設定および／または送信方向設定をセットする（有効にする）ことが好ましい。例えば、 k は4である。例えば、サブフレーム $n+k$ は、該MAC CEの送信に用いられたPDSCHに対するHARQ-ACK（ACK）を送信するサブフレームである。例えば、 k は図13の表および上りリンク参照設定／下りリンク参照設定に基づいて決定される。
- [0130] 移動局装置1は、サブフレーム $n-k$ において第1の情報／第2の情報および／または第3の情報を含む物理層の制御情報（例えば、DCIフォーマット）を、下りリンク物理チャネル（例えば、PDCCH／EPDCCH）を介して受信した場合、サブフレーム n において上りリンク参照設定／下りリンク参照設定および／または送信方向設定をセットする（有効にする）ことが好ましい。例えば、 k は4である。例えば、サブフレーム $n+k$ は、該

物理層の制御情報（例えば、DCIフォーマット）の送信に用いられた下りリンク物理チャネル（例えば、PDCCH/EPDCCH）に対するHARQ-ACK（ACK）を送信するサブフレームである。例えば、 k は図13の表および上りリンク参照設定／下りリンク参照設定に基づいて決定される。

[0131] 以降、別に記載がない限り、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定および送信方向設定をセットした移動局装置1のことを、移動局装置1と記載する。

[0132] 上りリンク参照設定について詳細に説明する。

[0133] 上りリンク参照設定は、PDCCH/EPDCCH/PHICHが配置されるサブフレーム n と前記PDCCH/EPDCCH/PHICHが対応するPUSCHが配置されるサブフレーム $n+k$ との対応を特定（選択、決定）するために用いられる。

[0134] 図10は、本実施形態におけるPDCCH/EPDCCH/PHICHが配置されるサブフレーム n と前記PDCCH/EPDCCH/PHICHが対応するPUSCHが配置されるサブフレーム $n+k$ との対応を示す図である。移動局装置1は、図10の表に従って k の値を特定（選択、決定）する。

[0135] 上りリンク参照設定1から6をセットしている移動局装置1は、サブフレーム n において移動局装置1を対象とする上りリンクグラントを伴うPDCCH/EPDCCHの検出した場合に、図10の表に基づいて特定（選択、決定）されるサブフレーム $n+k$ において該上りリンクグラントに応じたPUSCH送信を行なう。

[0136] 上りリンク参照設定1から6をセットしている移動局装置1は、サブフレーム n において移動局装置1を対象とするPHICHの検出した場合に、図10の表に基づいて特定（選択、決定）されるサブフレーム $n+k$ において該PHICHに応じたPUSCH送信を行なう。

[0137] 上りリンク参照設定0が設定された移動局装置1を対象とする上りリンク

グラントには、2ビットの上りリンクインデックス (UL index) が含まれる。上りリンク参照設定1から6が設定された移動局装置1を対象とする上りリンクグラントには、上りリンクインデックス (UL index) は含まれない。

[0138] 上りリンク参照設定0をセットしている移動局装置1は、サブフレーム n において上りリンクグラントに含まれる上りリンクインデックスのMSB (Most Significant Bit) が1にセットされている場合には、図10の表に基づいて特定(選択、決定)されるサブフレーム $n+k$ において該上りリンクグラントに応じたPUSCH送信を調整する。

[0139] 上りリンク参照設定0をセットしている移動局装置1は、サブフレーム $n=0$ または5における第1のリソースセットにおいてPICHを受信した場合には、図10の表に基づいて特定(選択、決定)されるサブフレーム $n+k$ において該PICHに応じたPUSCH送信を調整する。

[0140] 上りリンク参照設定0をセットしている移動局装置1は、サブフレーム n において上りリンクグラントに含まれる上りリンクインデックスのLSB (Least Significant Bit) が1にセットされている場合には、サブフレーム $n+7$ において該上りリンクグラントに応じたPUSCH送信を調整する。

[0141] 上りリンク参照設定0をセットしている移動局装置1は、サブフレーム $n=0$ または5における第2のリソースセットにおいてPICHを受信した場合、または、サブフレーム $n=1$ または6においてPICHを受信した場合には、サブフレーム $n+7$ において該上りリンクグラントに応じたPUSCH送信を調整する。

[0142] 例えば、上りリンク参照設定1がセットされている移動局装置1は、[SFN= m 、サブフレーム1]においてPDCCH/EPDCCH/PICHを検出した場合に、6つ後のサブフレーム[SFN= m 、サブフレーム7]においてPUSCHの送信を調整する。

[0143] 上りリンク参照設定は、PICHが配置されるサブフレーム n と前記PICHが対応するPUSCHが配置されるサブフレーム $n-k$ との対応を特定(選択、決定)するために用いられる。

[0144] 図 11 は、本実施形態における P H I C H が配置されるサブフレーム n と前記 P H I C H が対応する P U S C H が配置されるサブフレーム $n - k$ との対応を示す図である。移動局装置 1 は、図 11 の表に従って k の値を特定（選択、決定）する。

[0145] 移動局装置 1 が上りリンク参照設定 1 から 6 をセットしている場合には、サブフレーム n において移動局装置 1 に割り当てられた P H I C H を介して受信される H A R Q インディケータ（H A R Q - A C K）は、図 11 の表に基づいて特定されるサブフレーム $n - k$ における P U S C H の送信に関連する。

[0146] 移動局装置 1 が上りリンク参照設定 0 をセットしている場合には、サブフレーム $n = 0$ または 5 における第 1 のリソースセット、または、サブフレーム $n = 1$ または 6 において移動局装置 1 に割り当てられた P H I C H を介して受信される H A R Q インディケータ（H A R Q - A C K）は、図 11 の表に基づいて特定されるサブフレーム $n - k$ における P U S C H の送信に関連する。

[0147] 移動局装置 1 が上りリンク参照設定 0 をセットしている場合には、サブフレーム $n = 0$ または 5 における第 2 のリソースセットにおいて移動局装置 1 に割り当てられた P H I C H を介して受信される H A R Q インディケータ（H A R Q - A C K）は、 $n - 6$ における P U S C H の送信に関連する。

[0148] 例えば、上りリンク参照設定 1 がセットされている移動局装置 1 に対して、[S F N = m 、サブフレーム 1]において P H I C H を介して受信した H A R Q インディケータ（H A R Q - A C K）は、4 つ前のサブフレーム[S F N = $m - 1$ 、サブフレーム 7]における P U S C H 送信に関連している。

[0149] 上りリンク参照設定は、P U S C H が配置されるサブフレーム n と前記 P U S C H が対応する P H I C H が配置されるサブフレーム $n + k$ との対応を特定（選択、決定）するために用いられる。

[0150] 図 12 は、本実施形態における P U S C H が配置されるサブフレーム n と前記 P U S C H が対応する P H I C H が配置されるサブフレーム $n + k$ との

対応を示す図である。移動局装置 1 は、図 12 の表に従って k の値を特定（選択、決定）する。

[0151] 移動局装置 1 は、サブフレーム n において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、図 12 の表から特定されるサブフレーム $n+k$ において PICH リソースを決定する。

[0152] 例えば、上りリンク参照設定 0 がセットされている移動局装置 1 は、[SFN = m 、サブフレーム $n = 2$] において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、[SFN = m 、サブフレーム $n = 6$] において PICH リソースを決定する。

[0153] 例えば、上りリンク参照設定 0 がセットされている移動局装置 1 は、[SFN = m 、サブフレーム $n = 3$] において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、[SFN = $m+1$ 、サブフレーム $n = 0$] における第 1 のリソースセットの中から PICH リソースを決定する。

[0154] 例えば、上りリンク参照設定 0 がセットされている移動局装置 1 は、[SFN = m 、サブフレーム $n = 4$] において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、[SFN = $m+1$ 、サブフレーム $n = 0$] における第 2 のリソースセットの中から PICH リソースを決定する。

[0155] 例えば、上りリンク参照設定 0 がセットされている移動局装置 1 は、[SFN = m 、サブフレーム $n = 7$] において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、[SFN = $m+1$ 、サブフレーム $n = 1$] において PICH リソースを決定する。

[0156] 例えば、上りリンク参照設定 0 がセットされている移動局装置 1 は、[SFN = m 、サブフレーム $n = 8$] において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、[SFN = $m+1$ 、サブフレーム $n = 5$] における第 1 のリソースセットの中から PICH リソースを決定する。

[0157] 例えば、上りリンク参照設定 0 がセットされている移動局装置 1 は、[SFN = m 、サブフレーム $n = 9$] において PUSCH 送信がスケジュールされた場合には、[SFN = $m+1$ 、サブフレーム $n = 5$] における第 2 のリソース

セットの中からP H I C Hリソースを決定する。

[0158] 下りリンク参照設定について詳細に説明する。

[0159] 下りリンク参照設定は、P D S C Hが配置されるサブフレーム n と前記P D S C Hに対応するH A R Q - A C Kが送信されるサブフレーム $n + k$ との対応を特定（選択、決定）するために用いられる。

[0160] 図13は、本実施形態におけるP D S C Hが配置されるサブフレーム $n - k$ と前記P D S C Hに対応するH A R Q - A C Kが送信されるサブフレーム n との対応を示す図である。移動局装置1は、図13の表に従って k の値を特定（選択、決定）する。

[0161] 移動局装置1は、サブフレーム $n - k$ (k は図13の表によって特定される)において、移動局装置1を対象としており、対応するH A R Q - A C Kの送信を行なうべきP D S C H送信を検出した場合には、サブフレーム n においてH A R Q - A C Kを送信する。

[0162] 例えば、移動局装置1は、システムインフォメーションの送信に用いられるP D S C H送信に対するH A R Q - A C Kの応答を行なわない。例えば、移動局装置1は、C - R N T IでスクランブルされたC R CをとまなうD C IフォーマットによってスケジュールされたP D S C H送信に対するH A R Q - A C Kの応答を行なう。

[0163] 例えば、上りリンク参照設定1がセットされている移動局装置1は、サブフレーム $n = 2$ において、サブフレーム $n - 6$ および／または $n - 7$ において受信した、P D S C Hの送信に対するH A R Q - A C Kの送信を行なう。

[0164] 尚、上りリンク参照設定がセットされており、下りリンク参照設定がセットされていない移動局装置1は、上りリンク参照設定に従ってP D S C Hが配置されるサブフレーム $n - k$ と前記P D S C Hに対応するH A R Q - A C Kが送信されるサブフレーム n との対応を特定（選択、決定）してもよい。

[0165] 尚、上りリンク参照設定がセットされており、下りリンク参照設定がセットされていない移動局装置1は、上りリンク参照設定に従って下りリンクの受信および上りリンクの送信を行なうタイミング（サブフレーム）を決定し

てもよい。下りリンク参照設定がセットされていない移動局装置 1 は、送信方向設定を示す第 3 の情報を無視してもよい。

[0166] 尚、第 1 の情報を受信し、第 2 の情報を受信していない移動局装置 1 は、第 1 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしてもよい。第 1 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 は、送信方向設定を示す第 3 の情報を無視してもよい。

[0167] 第 1 の情報に基づいて上りリンク参照設定および下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 を、ダイナミック TDD が設定されていない移動局装置 1 とも称する。第 2 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 を、ダイナミック TDD が設定されている移動局装置 1 とも称する。

[0168] 第 1 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 は、上りリンク参照設定によって指示された下りリンクサブフレームまたはスペシャルサブフレームの DwPTS において下りリンクの信号を用いた測定（例えば、チャネル状態情報に関する測定）を行なってもよい。

[0169] 従って、ダイナミック TDD において、基地局装置 3 が、上りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームと指示されたサブフレームをスペシャルサブフレームまたは上りリンクサブフレームとして使用する、または、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームと指示されたサブフレームを上りリンクサブフレームとして使用すると、第 1 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 が下りリンクの信号を用いた測定を適切に行なうことができなくなるという問題がある。

[0170] ゆえに、基地局装置 3 は、上りリンク参照設定に基づいて限定される設定セット（セットの設定）の中から下りリンク参照設定を決定する。つまり、下りリンク参照設定は、上りリンク参照設定に基づいて限定される設定セットにおける要素である。上りリンク参照設定に基づいて限定される設定セットは、以下の条件（a）から（c）を満たす uplink - downlink configuration を含む。図 14 は、本発明の第 1 の実施形態における上りリンク参照設定

によって指示されるサブフレームと下りリンク参照設定によって指示されるサブフレームの関係を示す図である。図 14 において、D は下りリンクサブフレームを示し、U は上りリンクサブフレームを示し、S はスペシャルサブフレームを示す。

[0171] (a) 上りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されるサブフレームを下りリンクサブフレームとして指示している

(b) 上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示されるサブフレームを上りリンクサブフレームまたは下りリンクサブフレームとして指示している

(c) 上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示されるサブフレームを下りリンクサブフレームまたはスペシャルサブフレームとして指示している

[0172] これにより、ダイナミック TDD において、上りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームと指示されたサブフレーム、および、スペシャルサブフレームの DwPTS が上りリンクの送信のために利用されることはなくなるため、第 1 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 が下りリンクの信号を用いた測定を適切に行なうことができるようになる。

[0173] 尚、第 2 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットしている移動局装置 1 も、上りリンク参照設定によって指示された下りリンクサブフレームまたはスペシャルサブフレームの DwPTS において下りリンクの信号を用いた測定（例えば、チャネル状態情報に関する測定）を行なってもよい。

[0174] 基地局装置 3 は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。

[0175] 基地局装置 3 は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、上りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。

- [0176] 基地局装置3は、上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、上りリンクの送信または下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0177] つまり、基地局装置3は、上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームを上りリンクサブフレームまたは下りリンクサブフレームとして利用してもよい。
- [0178] 基地局装置3は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのDwPTSにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0179] 基地局装置3は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのUpPTSにおいて、上りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0180] 基地局装置3は、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームのDwPTSにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0181] 基地局装置3は、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームのUpPTSにおいて、上りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0182] 基地局装置3は、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0183] つまり、基地局装置3は、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレー

ムとして指示されたサブフレームを下りリンクサブフレームとして利用してもよい。

[0184] 上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレーム、および、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームを、フレキシブルサブフレームとも称する。

[0185] 送信方向設定について詳細に説明する。

[0186] 移動局装置 1 が上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、スケジューリング情報（DCI フォーマットおよび／または HARQ-ACK）に基づいて送信の方向（上り／下り）を決定してしまうと、基地局装置 3 が他の移動局装置 1 に対する下りリンクの信号を送信するサブフレームにおいて、スケジューリング情報（DCI フォーマットおよび／または HARQ-ACK）を誤って受信／復号してしまった移動局装置 1 が上りリンクの信号を送信してしまい、該上りリンクの信号が該下りリンクの信号への干渉となってしまうという問題がある。

[0187] そこで、本発明の移動局装置 1 は、サブフレームにおける送信の方向（上り／下り）に関する送信方向設定をセットする。送信方向設定は、サブフレームにおける送信の方向を決定するために用いられる。

[0188] 基地局装置 3 は、送信方向設定を示す第 3 の情報を、移動局装置 1 に送信する。第 3 の情報は上りリンク送信が可能なサブフレームを指示する情報である。第 3 の情報は下りリンク送信が可能なサブフレームを指示する情報である。第 3 の情報は U p P T S における上りリンク送信および D w P T S における下りリンク送信が可能なサブフレームを指示する情報である。

[0189] 例えば、送信方向設定は、上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレーム、および／または、上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示され、下りリンク参照設定によっ

て下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおける、送信の方向を特定するために用いられる。つまり、送信方向設定は、上りリンク参照設定と下りリンク参照設定とで異なる種類のサブフレームが指示されているサブフレームにおける、送信の方向を特定するために用いられる。

[0190] 図15は、本発明の第1の実施形態における上りリンク参照設定によって指示されるサブフレームと下りリンク参照設定によって指示されるサブフレームと送信方向設定によって指示されるサブフレームの関係を示す図である。図15において、Dは下りリンクサブフレームを示し、Uは上りリンクサブフレームを示し、Sはスペシャルサブフレームを示す。

[0191] 基地局装置3は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定に基づいて限定される設定セット（セットの設定）の中から送信方向設定を決定する。つまり、送信方向設定は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定に基づいて限定される設定セットにおける要素である。上りリンク参照設定および下りリンク参照設定に基づいて限定される設定セットは、以下の条件（d）から（h）を満たすuplink - downlink configurationを含む。

[0192] （d）上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されるサブフレームを下りリンクサブフレームとして指示している

（e）上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示されるサブフレームを上りリンクサブフレームとして指示している

（f）上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示されるが、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されるサブフレームを、上りリンクサブフレームまたは下りリンクサブフレームとして指示している

（g）上りリンク参照設定および下りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示されるサブフレームをスペシャルサブフレームとして指示している

(h) 上りリンク参照設定によってスペシャルサブフレームとして指示されるが、下りリンク参照設定によって下りリンクサブフレームとして指示されるサブフレームを、スペシャルサブフレームまたは下りリンクサブフレームとして指示している

[0193] 基地局装置 3 は、送信方向設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。

[0194] 移動局装置 1 は、送信方向設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、下りリンク信号の受信処理を行なってもよい。移動局装置 1 は、送信方向設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、PDCCH/EPDCCHのモニタを行なってもよい。移動局装置 1 は、送信方向設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいてPDCCH/EPDCCHを介して下りリンクグラントを検出した場合に、該サブフレームにおいて該下りリンクグラントに対応するPDSCHの受信処理を行なってもよい。

[0195] 移動局装置 1 は、送信方向設定によって下りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおける上りリンク信号(PUSCH/SRS)の送信が、PDCCH/EPDCCHを介して受信した下りリンク制御情報によってスケジュールされた場合に、該サブフレームにおいて上りリンク信号(PUSCH/SRS)の送信処理を行なわない。

[0196] 基地局装置 3 は、送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、上りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。

[0197] 基地局装置 3 は、送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、基地局装置 3 による下りリンクの送信のスケジューリングを禁止してもよい。

- [0198] 移動局装置 1 は、送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、上りリンク信号の送信処理を行なってもよい。移動局装置 1 は、送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、PUSCH/DMRS/SRSの送信処理を行なってもよい。移動局装置 1 は、送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおける上りリンク信号（PUSCH/SRS）の送信が、PDCCH/EPDCCHを介して受信した下りリンク制御情報によってスケジュールされた場合に、該サブフレームにおいて上りリンク信号（PUSCH/SRS）の送信処理を行なってもよい。
- [0199] 移動局装置 1 は、送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示され、上りリンクの送信がスケジュールされていないサブフレームにおいて、下りリンク信号の受信処理を行なってもよい。送信方向設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたサブフレームにおいて、移動局装置 1 による下りリンク信号の受信処理を禁止してもよい。
- [0200] 基地局装置 3 は、送信方向設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのDwPTSにおいて、下りリンクの送信のスケジューリングを行なってもよい。
- [0201] 移動局装置 1 は、送信方向設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのDwPTSにおいて、下りリンク信号の受信処理を行なってもよい。移動局装置 1 は、送信方向設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのDwPTSにおいて、PDCCH/EPDCCHのモニタを行なってもよい。移動局装置 1 は、送信方向設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのDwPTSにおいてPDCCH/EPDCCHを介して下りリンクグラントを検出した場合に、該サブフレームのDwPTSにおいて該下りリンクグラントに対応するPDSCHの受信処理を行なってもよい。
- [0202] 移動局装置 1 は、送信方向設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームにおけるPUSCHの送信が、PDCCH/EPDC

C Hを介して受信した下りリンク制御情報によってスケジュールされた場合に、該サブフレームにおいてP U S C Hの送信処理を行なわない。

[0203] 移動局装置1は、送信方向設定によってスペシャルサブフレームとして指示されたサブフレームのU p P T SにおけるS R Sの送信が、P D C C H／E P D C C Hを介して受信した下りリンク制御情報によってスケジュールされた場合に、該サブフレームのU p P T SにおいてS R Sの送信処理を行なってもよい。

[0204] 図16は、本発明の第1の実施形態における上りリンク参照設定と下りリンク参照設定と送信方向設定の関係を示す図である。

[0205] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが0である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configurationのセット{1、2、3、4、5、6}のうちの1つである。

[0206] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが1である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configurationのセット{2、4、5}のうちの1つである。

[0207] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが2である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configurationのセット{5}のうちの1つである。つまり、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが2である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configuration 5である。

[0208] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが3である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configurationのセット{4、5}のうちの1つである。

[0209] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが4である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configurationのセット{5}のうちの1つである。つまり、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが4である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configuration 5である。

- [0210] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが5である場合、下りリンク参照設定および送信方向設定はセットされない。
- [0211] 図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが0である場合、下りリンク参照設定はuplink - downlink configurationのセット{1、2、3、4、5}のうちの1つである。
- [0212] 例えば、図16において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが0であり、下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが1である場合、送信方向設定はuplink - downlink configurationのセット{0、1、6}のうちの1つである。
- [0213] 尚、下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationは、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationと同じでもよい。しかし、第2の情報を受信していない移動局装置1は、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationと同じuplink - downlink configurationを下りリンク参照設定としてセットするため、第2の情報が示す下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationは、第1の情報が示す上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationと同じではないほうが好ましい。
- [0214] 図17は、本発明の第1の実施形態における基地局装置3と移動局装置1(1A、1B)との通信の一例を示す図である。図17において、移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれに対して、上りリンク参照設定0、下りリンク参照設定1、および、送信方向設定6がセットされている。図17において、移動局装置1AはACKの復号に成功しているが、移動局装置1BはACKをNACKとして検出している。
- [0215] 基地局装置3は、移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれに対して、[SFN=m、サブフレームn=1]においてPDCCH/EPDCCHを介して上りリンクグラントを送信する。
- [0216] 移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれは、[SFN=m、サブフレームn=8]において該上りリンクグラントに対応するPUSCHを介してデー

タを送信する。

[0217] 基地局装置3は、[SFN=m+1、サブフレームn=5]において移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれに対してACKを示すHARQインディケータを送信する。

[0218] また、基地局装置3は、移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれに対して、[SFN=m+1、サブフレームn=9]において移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれに対して、PDCCH/EPDCCHを介して下りリンクグラントを送信し、該PDCCH/EPDCCHに対応するPDSCHを介してデータを送信する。

[0219] ACKの復号に成功した移動局装置1Aは、[SFN=m+1、サブフレームn=9]においてPUSCHを介してデータの再送信を行わず、PDCCH/EPDCCHのモニタを行なう。

[0220] ACKの復号に成功した移動局装置1Bは、[SFN=m+1、サブフレームn=9]においてPUSCHを介してデータの再送信を行わず、PDCCH/EPDCCHのモニタを行なう。

[0221] ACKをNACKとして復号した移動局装置1Bは、[SFN=m+1、サブフレームn=9]においてPUSCHを介したデータの再送信がスケジュールされたとみなすが、送信方向設定によって[SFN=m+1、サブフレームn=9]が下りリンクサブフレームとして指示されているため、PUSCHを介したデータの再送信を行わない。また、移動局装置1Bは、[SFN=m+1、サブフレームn=9]においてPDCCH/EPDCCHのモニタを行なう。

[0222] 基地局装置3は、[SFN=m+1、サブフレームn=9]において下りリンク信号の送信を行なうために、[SFN=m、サブフレームn=8]においてPUSCHを介して受信したデータの復号に失敗していたとしても、[SFN=m+1、サブフレームn=5]において移動局装置1Aと移動局装置1Bのそれぞれに対してACKを示すHARQインディケータを送信してもよい。

- [0223] 第1の実施形態の基地局装置3は、上りリンク参照設定（第1の設定）に基づいて限定される設定セットの中から下りリンク参照設定（第2の設定）を決定し、前記上りリンク参照設定（第1の設定）および前記下りリンク参照設定（第2の設定）に基づいて限定される設定セットの中から送信方向設定（第3の設定）を決定するサブフレーム設定部3013と、上りリンク参照設定（第1の設定）を示す第1の情報、下りリンク参照設定（第2の設定）を示す第2の情報、および、送信方向設定（第3の設定）を示す第3の情報を送信する送信部307と、を備える。
- [0224] 第1の実施形態の移動局装置1は、上りリンク参照設定（第1の設定）を示す第1の情報、下りリンク参照設定（第2の設定）を示す第2の情報、および、送信方向設定（第3の設定）を示す第3の情報を受信する受信部105と、上りリンク参照設定（第1の設定）、下りリンク参照設定（第2の設定）、および、送信方向設定（第3の設定）をセットするサブフレーム設定部1013と、を備える。
- [0225] このように、送信方向設定を用いることによって、移動局装置1Bが[SFN = $m + 1$ 、サブフレーム $n = 9$]においてPUSCHの誤送信を行なうことを防ぐことができ、移動局装置1Bが送信したPUSCHが移動局装置1Aへの干渉となることを避けることができ、また、移動局装置1BがPDCCH/E-PDCCHのモニタを正しく行なうことができる。
- [0226] また、送信方向設定をuplink - downlink configurationによって定義することにより、サブフレーム毎に送信方向を指示する方法と比較して効率的に送信方向を設定することができる。
- [0227] 以下、本発明の第2の実施形態について説明する。
- [0228] 以下、別に記載がない限り、第1の実施形態で記載した内容は、第2の実施形態においても適用することが可能である。以下、別に記載がない限り、第2の実施形態の移動局装置1は第1の実施形態の移動局装置1と同様の処理を行なうことができ、第2の実施形態の基地局装置3は第1の実施形態の基地局装置3と同様の処理を行なうことができる。

- [0229] 第2の実施形態は、前記上りリンク参照設定（第1の設定）および前記下りリンク参照設定（第2の設定）に基づいて限定される設定セットとして、上りリンク参照設定（第1の設定）のuplink - downlink configurationおよび下りリンク参照設定（第2の設定）のuplink - downlink configurationから構成される設定セット（セットの設定）を用いる。
- [0230] 図18は、本発明の第2の実施形態における上りリンク参照設定と下りリンク参照設定と送信方向設定の関係を示す図である。
- [0231] 例えば、図18において、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが0であり、下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationが1である場合、送信方向設定はuplink - downlink configuration のセット {0、1} のうちの1つである。
- [0232] 第2の実施形態の基地局装置3のサブフレーム設定部3013は、上りリンク参照設定（第1の設定）のuplink - downlink configurationおよび下りリンク参照設定（第2の設定）のuplink - downlink configurationから構成される設定セット（セットの設定）の中から送信方向設定（第3の設定）を決定する。第2の実施形態の基地局装置3のサブフレーム設定部3013は、送信方向が上りリンク参照設定と下りリンク参照設定のどちらに従うかを決定する。第2の実施形態の基地局装置3の送信部307は、第3の情報の代わりに、送信方向が上りリンク参照設定と下りリンク参照設定のどちらに従うかを指示する第4の情報を送信する。
- [0233] 第2の実施形態の移動局装置1の受信部105は、第3の情報の代わりに、第4の情報を受信する。第2の実施形態の移動局装置1のサブフレーム設定部1013は、第4の情報に基づいて送信方向が上りリンク参照設定と下りリンク参照設定のどちらに従うかをセットする。第2の実施形態の移動局装置1のサブフレーム設定部1013は、受信した第4の情報に基づいて第3の設定をセットする。
- [0234] 第4の情報は、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationおよび下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationから構成される

設定セット（セットの設定）の中から送信方向設定（第3の設定）を示す情報でもよい。第4の情報は1ビットであることが好ましい。

[0235] 第4の情報は、上りリンク参照設定と下りリンク参照設定のどちらに基づいて上りリンク信号（例えば、PUSCHおよび／またはSR）の送信が可能なサブフレームが特定されるべきかを示す。移動局装置1のサブフレーム設定部1013は、第4の情報によって示された上りリンク参照設定または下りリンク参照設定に基づいて、上りリンクの送信が可能なサブフレームを特定する。

[0236] 第4の情報は、上りリンク参照設定と下りリンク参照設定のどちらに基づいて下りリンク信号をモニタするサブフレームが特定されるべきかを示す。移動局装置1のサブフレーム設定部1013は、第4の情報によって示された上りリンク参照設定または下りリンク参照設定に基づいて、下りリンク信号をモニタするサブフレームを特定する。

[0237] 移動局装置1は、第4の情報によって示された上りリンク参照設定または下りリンク参照設定に基づいて上りリンクの送信が不可能であるとみなしたサブフレームにおいて、上りリンクの送信をスケジュール／設定された場合、該サブフレームにおいて上りリンクの送信処理を行なわない。

[0238] 移動局装置1は、第4の情報によって示された上りリンク参照設定または下りリンク参照設定に基づいてPUSCHの送信が不可能であるとみなしたサブフレームにおいて、PUSCHをスケジュールされた場合、該サブフレームにおいてPUSCHの送信を行なわない。

[0239] 移動局装置1は、第4の情報によって示された上りリンク参照設定または下りリンク参照設定に基づいてSRの送信が不可能であるとみなしたサブフレームにおいて、SRをスケジュールされた場合、該サブフレームにおいてSRの送信を行なわない。

[0240] このように、上りリンク参照設定のuplink - downlink configurationおよび下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationから構成される設定セット（セットの設定）の中から送信方向設定を決定することにより、第

1の実施形態の第3の情報と比較して第4の情報のビット数を、更に減らすことができる。

[0241] 以下、本発明の第3の実施形態について説明する。

[0242] 以下、別に記載がない限り、第1または第2の実施形態に記載した内容は、第3の実施形態においても適用することが可能である。以下、別に記載がない限り、第3の実施形態の移動局装置1は第1または第2の実施形態の移動局装置1と同様の処理を行なうことができ、第3の実施形態の基地局装置3は第1または第2の実施形態の基地局装置3と同様の処理を行なうことができる。

[0243] 第1および第2の移動局装置1と同様に、第3の実施形態の移動局装置1は、送信方向設定に基づいて、送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。第3の実施形態において、移動局装置1は、更に、送信方向設定をセットしていない期間の送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0244] 移動局装置1は、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および、送信方向設定がセットされている場合、送信方向設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0245] 移動局装置1は、上りリンク参照設定がセットされており、下りリンク参照設定および送信方向設定がセットされていない場合、上りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0246] 移動局装置1は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定がセットされており、送信方向設定がセットされていない場合、下りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。つまり、移動局装置1は、上りリンク参照設定および下りリンク参照設定がセットされており、送信方向設定を指示されていない場合、下りリンク参照設定のuplink - downlink configurationをデフォルトとして送信方向設定にセットする。

[0247] 上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および、送信方向設定がセッ

トされている移動局装置 1 は、下りリンク参照設定を再設定した場合に、送信方向設定をクリア (clear) / 破棄 (discard) してもよい。尚、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および、送信方向設定がセットされている移動局装置 1 は、再設定した下りリンク参照設定が前の下りリンク参照設定と同じ場合に、送信方向設定をクリア (clear) / 破棄 (discard) しなくてもよい。つまり、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および、送信方向設定がセットされている移動局装置 1 は、下りリンク参照設定が変更された場合に、送信方向設定をクリア (clear) / 破棄 (discard) してもよい。

[0248] 第 3 の実施形態の移動局装置 1 のサブフレーム設定部 1013 は、送信方向設定がセットされていない期間 / 場合に、下りリンク参照設定に基づいて送信の方向 (上り / 下り) を特定 (選択、決定) する。また、第 3 の実施形態の移動局装置 1 のサブフレーム設定部 1013 は、下りリンク参照設定が再設定 / 変更された場合に、送信方向設定をクリア (clear) / 破棄 (discard) してもよい。

[0249] 第 3 の実施形態の移動局装置 3 のサブフレーム設定部 3013 は、移動局装置 1 に下りリンク参照設定が再設定 / 変更を指示した場合に、移動局装置 1 の送信方向設定がクリア (clear) / 破棄 (discard) されるとみなしてもよい。

[0250] 図 19 は、本発明の第 3 の実施形態の一例を示すシーケンス図である。

[0251] T1900 において基地局装置 3 は第 1 の情報を送信する。T1902 において移動局装置 1 は該第 1 の情報に基づいて上りリンク参照設定をセットする。T1904 において基地局装置 3 は第 2 の情報を送信する。T1906 において移動局装置 1 は該第 2 の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットする。T1908 において基地局装置 3 は第 3 の情報または第 4 の情報を送信する。T1910 において移動局装置 1 は該第 3 の情報または該第 4 の情報に基づいて送信方向設定をセットする。

[0252] T1912 において基地局装置 3 は第 2 の情報を送信する。T1914 に

において、移動局装置 1 は該第 2 の情報に基づいて下りリンク参照設定を再設定し、T 1 9 1 0 においてセットした送信方向設定をクリア／破棄する。T 1 9 1 6 において、基地局装置 3 は第 3 の情報または第 4 の情報を送信する。T 1 9 1 8 において移動局装置 1 は該第 3 の情報または該第 4 の情報に基づいて送信方向設定を再びセットする。

[0253] 移動局装置 1 は、最初に下りリンク参照設定をセットするまでの期間 P 1 9 4 0 において、上りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0254] 移動局装置 1 は、下りリンク参照設定をセットしてから最初に送信方向設定をセットするまでの期間 P 1 9 4 2 において、下りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0255] 移動局装置 1 は、送信方向設定をセットしてから送信方向設定をクリアするまでの期間 P 1 9 4 4 において、送信方向設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0256] 移動局装置 1 は、送信方向設定をクリア（下りリンク参照設定を再設定／変更）してから次の送信方向設定をセットするまでの期間 P 1 9 4 6 において、下りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0257] 移動局装置 1 は、送信方向設定をセットしてからの期間 P 1 9 4 8 において、送信方向設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0258] 尚、T 1 9 0 2 において移動局装置 1 は、第 1 の情報に基づいて上りリンク参照設定および下りリンク参照設定をセットし、T 1 9 0 6 において移動局装置 1 は該第 2 の情報に基づいて下りリンク参照設定を再設定してもよい。この場合、移動局装置 1 は、期間 P 1 9 4 0 において、下りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下り）を特定（選択、決定）する。

[0259] 移動局装置 1 は、第 2 の情報を受信し、第 2 の情報に基づき上りリンクの信号の送信が可能なサブフレームを判断し、次に第 3 の情報または第 4 の情

報が受信されるか監視し、第3の情報または第4の情報を受信した場合に、第3の情報または第4の情報に基づき上りリンクの信号の送信が可能なサブフレームを判断する。

[0260] 例えば、基地局装置3は、PDCCH/EPDCCHを用いて、第3の情報または第4の情報を移動局装置1に送信する。第3の情報または第4の情報は、基地局装置3（セル）のカバレッジ内のダイナミックTDDの動作の制御を行なう。第3の情報または第4の情報は、複数の移動局装置1宛てに共通に送信される。第3の情報または第4の情報は、CSS（Common Search Space）、または、USS（UE-specific Search Space）において送受信される。

[0261] 複数の移動局装置1が共通してPDCCH/EPDCCHの監視を行なう領域である。USSは、少なくともC-RNTIに基づいて定義される領域である。C-RNTIは、移動局装置1に固有に割り当てられる識別子である。

[0262] 第3の情報または第4の情報の送受信に用いられるPDCCH/EPDCCHにはC-RNTIではなく、共通の識別子が用いられることが好ましい。また、移動局装置1が第3の情報または第4の情報を含むPDCCH/EPDCCHをモニタするサブフレームは制限されてもよい。基地局装置3は、移動局装置1が第3の情報または第4の情報を含むPDCCH/EPDCCHをモニタするサブフレームを制御してもよい。

[0263] 例えば、10サブフレーム間隔で、第3の情報または第4の情報を含むPDCCH/EPDCCHが配置されうる。例えば、移動局装置1は、10サブフレーム間隔で、第3の情報をモニタする。第3の情報を含むPDCCH/EPDCCHが配置されうるサブフレームは予め決められてもよい。例えば、第3の情報は無線フレームのサブフレーム0のみに配置されてもよい。

[0264] 基地局装置3は、必要と判断した場合にのみ、第3の情報または第4の情報を送信する。例えば、基地局装置3は、送信方向設定を変更すると判断した場合に第3の情報または第4の情報を送信する。例えば、基地局装置3は

、ダイナミックTDDの動作を開始した移動局装置1に対して、第3の情報
を通知する必要があると判断した場合に第3の情報または第4の情報を送信
する。

[0265] ダイナミックTDDの動作を開始した移動局装置1は、第3の情報または
第4の情報を含むPDCCH/EPCCHが配置されうるサブフレームで
、第3の情報または第4の情報を含む下りリンク制御チャネルのモニタを行
なう。

[0266] 移動局装置1は、受信した信号に対して復号を試み、第3の情報または第
4の情報を含むPDCCH/EPCCHが検出されたか否かを判断する。
移動局装置1は、第3の情報または第4の情報を含むPDCCH/EPCCH
を検出した場合、検出した第3の情報または検出した第4の情報に基づ
き、上りリンクの信号の送信が可能なサブフレームを判断する。移動局装置
1は、第3の情報または第4の情報を含むPDCCH/EPCCHを検出
しなかった場合、上りリンクの信号の送信が可能なサブフレームに関してこ
れまでの判断を維持する。

[0267] このように、送信方向設定がセットされていない期間／場合に、上りリン
ク参照設定ではなく、下りリンク参照設定に基づいて送信の方向（上り／下
り）を特定（選択、決定）することにより、更に、移動局装置1が上りリン
クの送信を誤って行ってしまう確率を低くすることができる。

[0268] 例えば、上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示
されたが、下りリンク参照設定によって下りリンク参照設定として指示され
たサブフレームを、下りリンクサブフレームとして指示する第3の情報の復
号を移動局装置1が失敗したとしても、該サブフレームにおいて移動局装置
1が上りリンクの送信を行なうことを回避することができる。

[0269] 尚、上りリンク参照設定、下りリンク参照設定、および、送信方向設定が
セットされている移動局装置1は、上りリンク参照設定を再設定した場合に
、下りリンク参照設定および送信方向設定をクリア（clear）／破棄（discar
d）してもよい。

[0270] 以下、本発明の第４の実施形態について説明する。

[0271] 以下、別に記載がない限り、第１から第３の実施形態で記載した内容は、第４の実施形態においても適用することが可能である。以下、別に記載がない限り、第４の実施形態の移動局装置１は第１から第３の実施形態の移動局装置１と同様の処理を行なうことができ、第４の実施形態の基地局装置３は第１から第３の実施形態の基地局装置３と同様の処理を行なうことができる。

[0272] 第４の実施形態の移動局装置１のサブフレーム設定部１０１３は、タイマーの管理を行なう。サブフレーム設定部１０１３は、タイマーがランニングしている期間のみ、送信方向設定を有効にする。タイマーは一度スタートすると、タイマーがストップされるまで、または、タイマーが満了（expire）するまで、該タイマーはランニングしている。それ以外は、タイマーはランニングしていない。

[0273] サブフレーム設定部１０１３は、送信方向設定をセットする際にタイマーをスタートする。サブフレーム設定部１０１３は、送信方向設定を指示する第３の情報または第４の情報を受信した場合にタイマーをスタートしてもよい。

[0274] サブフレーム設定部１０１３は、送信方向設定をセットする際に、既にタイマーがランニングしているならば、タイマーをリスタートする。サブフレーム設定部は、サブフレーム設定部１０１３は、送信方向設定を指示する第３の情報または第４の情報を受信した場合に、既にタイマーがランニングしているならば、タイマーをリスタートしてもよい。

[0275] サブフレーム設定部１０１３は、上りリンク参照設定または下りリンク参照設定を再設定／変更する際に、送信方向設定をクリアし、タイマーをストップする。サブフレーム設定部１０１３は、タイマーが満了する際に、送信方向設定をクリアする。

[0276] 第４の実施形態の基地局装置３のサブフレーム設定部３０１３は、タイマーに関する設定（例えば、タイマーの長さ）を決定し、タイマーに関する設

定を示す第5の情報を生成し、送信部307を介して該第5の情報を移動局装置1に送信する。移動局装置1のサブフレーム設定部1013は、第5の情報に基づいてタイマーに関する設定をセットする。

[0277] 尚、タイマーの長さは無限でもよい。尚、第5の情報は、第2の情報とともに送信されてもよい。尚、第5の情報は、第3の情報または第4の情報とともに送信されてもよい。

[0278] 図20は、本発明の第4の実施形態の一例を示すシーケンス図である。図20において、期間P2040および期間P2042においてタイマーはランニングしている。

[0279] T2000において基地局装置3は第1の情報を送信する。T2002において、移動局装置1は該第1の情報に基づいて上りリンク参照設定をセットする。T2004において基地局装置3は第2の情報および第5の情報を送信する。T2006において移動局装置1は該第2の情報に基づいて下りリンク参照設定をセットし、該第5の情報に基づいてタイマーに関する設定をセットする。T2008において基地局装置3は第3の情報または第4の情報を送信する。

[0280] T2010において移動局装置1は該第3の情報または該第4の情報に基づいて送信方向設定をセットし、タイマーをスタートする。T2012において、タイマーが満了し、移動局装置1は送信方向設定をクリアする。T2014において基地局装置3は第3の情報または第4の情報を送信する。T2016において移動局装置1は該第3の情報または該第4の情報に基づいて、再び送信方向設定をセットし、タイマーをスタートする。T2018において基地局装置3は第3の情報または第4の情報を送信する。

[0281] T2020において移動局装置1は該第3の情報または該第4の情報に基づいて送信方向設定をセット／再設定／変更し、タイマーをリスタートする。T2022において基地局装置3は第2の情報を送信する。T2024において移動局装置1は該第2の情報に基づいて送信方向設定をセット／再設定／変更し、タイマーをストップし、そして、送信方向設定をクリアする。

[0282] このように、タイマーを用いることにより、更に、移動局装置 1 が上りリンクの送信を誤って行ってしまう確率を低くすることができる。

[0283] 例えば、移動局装置 1 が送信方向設定の再設定を行なうための第 3 の情報の復号に失敗したとしても、移動局装置 1 はタイマーの満了に基づいて送信方向設定がクリアし、上りリンク参照設定によって上りリンクサブフレームとして指示されたが、下りリンク参照設定によって下りリンク参照設定として指示されたサブフレームにおいて上りリンクの送信処理を行なわないようにすることで、該サブフレームにおいて移動局装置 1 が上りリンクの送信を行なうことを回避することができる。

[0284] 以下、本発明の第 5 の実施形態について説明する。

[0285] 以下、別に記載がない限り、第 1 から第 3 の実施形態で記載した内容は、第 5 の実施形態においても適用することが可能である。以下、別に記載がない限り、第 5 の実施形態の移動局装置 1 は第 1 から第 3 の実施形態の移動局装置 1 と同様の処理を行なうことができ、第 5 の実施形態の基地局装置 3 は第 1 から第 3 の実施形態の基地局装置 3 と同様の処理を行なうことができる。

[0286] 第 5 の実施形態の基地局装置 3 は、第 3 の情報または第 4 の情報を含む M I B を移動局装置 1 に送信する。

[0287] 第 5 の実施形態の移動局装置 1 は、M I B の送信周期に基づいて、送信方向設定が有効である期間を特定する。移動局装置 1 は、ある M I B 送信周期においてセットした送信方向設定を、次の M I B 送信周期の最初に送信される M I B によって送信方向設定が再設定可能なサブフレームまで有効であるとみなしてもよい。

[0288] 図 2 1 は、本発明の第 5 の実施形態の一例を示す図である。SFN mod 4 = 0 を満たす無線フレームにおけるサブフレーム 0 において M I B の初期送信が行なわれ、他の全ての無線フレームにおけるサブフレーム 0 において M I B の再送信 (repetition) が行なわれる。図 2 1 において、T 2 1 0 0 で送信された M I B は、T 2 1 0 2、T 2 1 0 4、および、T 2 1 0 6 において繰

り返し送信される。

[0289] 図21のT2100において、移動局装置1はPBCHを介して送信されたMIBの復号に失敗する。図21のT2102において、移動局装置1はPBCHを介して再送信されたMIBの復号に成功する。図21のT2104およびT2106において、移動局装置1はMIBの復号を試みなくてもよい。図21のT2108において、移動局装置1は次のMIB送信周期で最初に送信されるMIBの復号を試みる。

[0290] 図21において、移動局装置1は、サブフレーム $n-k$ (T2102)において第3の情報または第4の情報を含むMIBを、PBCHを介して受信した場合、サブフレーム n (T2110)において送信方向設定をセットする(有効にする)。例えば、 k は4である。例えば、 k は図13の表および下りリンク参照設定に基づいて決定される。

[0291] 移動局装置1は、期間P2140において送信方向設定を有効にする。移動局装置1は次のMIB送信周期において最初にMIBが送信されるサブフレーム(T2108)より k または $k-1$ 後のサブフレーム(T2112)において、送信方向設定をクリアしてもよい。

[0292] 尚、移動局装置1は、送信方向設定がセットされていない期間は、下りリンク参照設定に基づいて送信方向を特定(選択、決定)することが好ましい。

[0293] このように、移動局装置1がMIBの送信周期に基づいて送信方向設定が有効である期間を特定することにより、更に、移動局装置1が上りリンクの送信を誤って行ってしまう確率を低くすることができる。

[0294] 本発明に関わる基地局装置3、および移動局装置1で動作するプログラムは、本発明に関わる上記実施形態の機能を実現するように、CPU (Central Processing Unit) 等を制御するプログラム(コンピュータを機能させるプログラム)であってもよい。そして、これら装置で取り扱われる情報は、その処理時に一時的にRAM (Random Access Memory) に蓄積され、その後、Flash ROM (Read Only Memory)などの各種ROMやHDD (Hard D

isk Drive) に格納され、必要に応じてCPUによって読み出し、修正・書き込みが行なわれる。

[0295] 尚、上述した実施形態における移動局装置1、基地局装置3の一部、をコンピュータで実現するようにしてもよい。その場合、この制御機能を実現するためのプログラムをコンピュータが読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することによって実現してもよい。

[0296] 尚、ここでいう「コンピュータシステム」とは、移動局装置1、又は基地局装置3に内蔵されたコンピュータシステムであって、OSや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フレキシブルディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。

[0297] さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムを送信する場合の通信線のように、短時間、動的にプログラムを保持するもの、その場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリのように、一定時間プログラムを保持しているものも含んでもよい。また上記プログラムは、前述した機能の一部を実現するためのものであってもよく、さらに前述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるものであってもよい。

[0298] また、上述した実施形態における基地局装置3は、複数の装置から構成される集合体（装置グループ）として実現することもできる。装置グループを構成する装置の各々は、上述した実施形態に関わる基地局装置3の各機能または各機能ブロックの一部、または、全部を備えてもよい。装置グループとして、基地局装置3の一通りの各機能または各機能ブロックを有していればよい。また、上述した実施形態に関わる移動局装置1は、集合体としての基地局装置と通信することも可能である。

- [0299] また、上述した実施形態における基地局装置 3 は、E U T R A N (Evolved Universal Terrestrial Radio Access Network) であってもよい。また、上述した実施形態における基地局装置 3 は、e N o d e B に対する上位ノードの機能の一部または全部を有してもよい。
- [0300] また、上述した実施形態における移動局装置 1、基地局装置 3 の一部、又は全部を典型的には集積回路である L S I として実現してもよいし、チップセットとして実現してもよい。移動局装置 1、基地局装置 3 の各機能ブロックは個別にチップ化してもよいし、一部、又は全部を集積してチップ化してもよい。また、集積回路化の手法は L S I に限らず専用回路、又は汎用プロセッサで実現してもよい。また、半導体技術の進歩により L S I に代替する集積回路化の技術が出現した場合、当該技術による集積回路を用いることも可能である。
- [0301] また、上述した実施形態では、端末装置もしくは通信装置の一例として移動局装置を記載したが、本願発明は、これに限定されるものではなく、屋内外に設置される据え置き型、または非可動型の電子機器、例えば、A V 機器、キッチン機器、掃除・洗濯機器、空調機器、オフィス機器、自動販売機、その他生活機器などの端末装置もしくは通信装置にも適用出来る。
- [0302] 以上、この発明の実施形態に関して図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等も含まれる。また、本発明は、請求項に示した範囲で種々の変更が可能であり、異なる実施形態にそれぞれ開示された技術的手段を適宜組み合わせて得られる実施形態についても本発明の技術的範囲に含まれる。また、上記各実施形態に記載された要素であり、同様の効果を奏する要素同士を置換した構成も含まれる。

符号の説明

- [0303] 1 (1 A、1 B、1 C) 移動局装置
3 基地局装置
1 0 1 上位層処理部

1 0 3 制御部
1 0 5 受信部
1 0 7 送信部
3 0 1 上位層処理部
3 0 3 制御部
3 0 5 受信部
3 0 7 送信部
1 0 1 1 無線リソース制御部
1 0 1 3 サブフレーム設定部
1 0 1 5 スケジューリング情報解釈部
3 0 1 1 無線リソース制御部
3 0 1 3 サブフレーム設定部
3 0 1 5 スケジューリング部

請求の範囲

- [請求項1] 基地局装置と通信する端末装置であって、
 上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する設定部と、
 同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれでモニタする受信部と、を備え、
 前記受信部は、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を1つ検出するまで、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が伝送される複数のサブフレームのそれぞれで前記情報をモニタすることを特徴とする端末装置。
- [請求項2] 前記複数のサブフレームで送信される、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報のそれぞれは、同じ上りリンカー下りリンク設定を示すことを特徴とする請求項1に記載の端末装置。
- [請求項3] 基地局装置と通信する端末装置に実装される集積回路であって、
 上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する機能と、
 同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を1つ検出するまで、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が伝送される複数のサブフレームのそれぞれで前記情報をモニタする機能と、を含む一連の機能を前記端末装置に発揮させることを特徴とする集積回路。
- [請求項4] 基地局装置と通信する端末装置に対して用いられる無線通信方法であって、
 上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定し、

同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を1つ検出するまで、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が伝送される複数のサブフレームのそれぞれで前記情報をモニタすることを特徴とする無線通信方法。

[請求項5]

端末装置と通信する基地局装置であって、

上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する設定部と、

同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれで送信する送信部と、を備え、

前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が送信される前記複数のサブフレームは、前記同じ無線フレームの期間の長さと同じ長さの期間に含まれることを特徴とする基地局装置。

[請求項6]

前記複数のサブフレームで送信される、前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報のそれぞれは、同じ上りリンカー下りリンク設定を示すことを特徴とする請求項4に記載の基地局装置。

[請求項7]

端末装置と通信する基地局装置に実装される集積回路であって、

上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定する機能と、

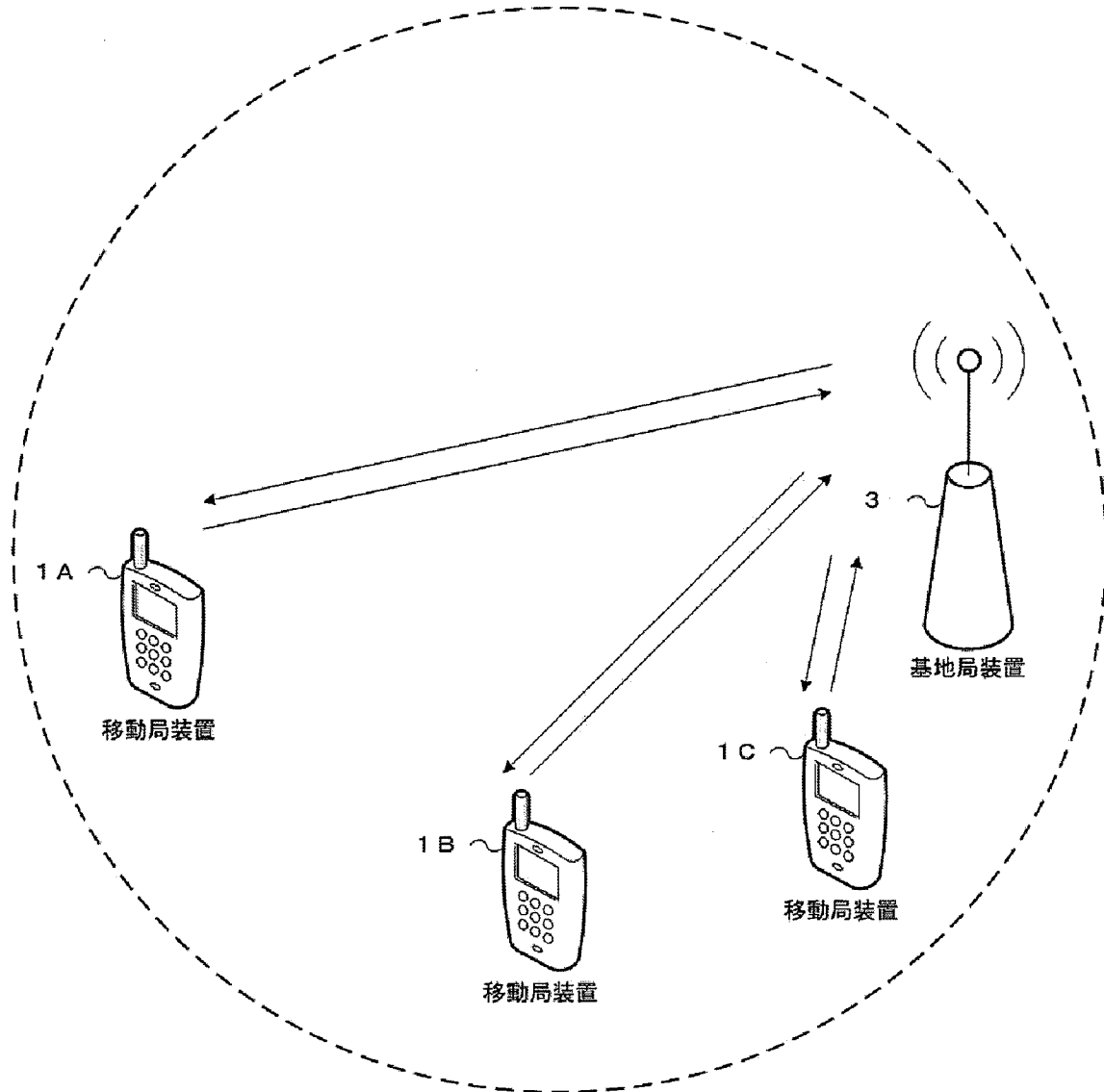
同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれで送信する機能と、を含む一連の機能を前記基地局装置に発揮させ、

前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が送信される前記複数のサブフレームは、前記同じ無線フレームの期間の長さと同じ長さの期間に含まれることを特徴とする集

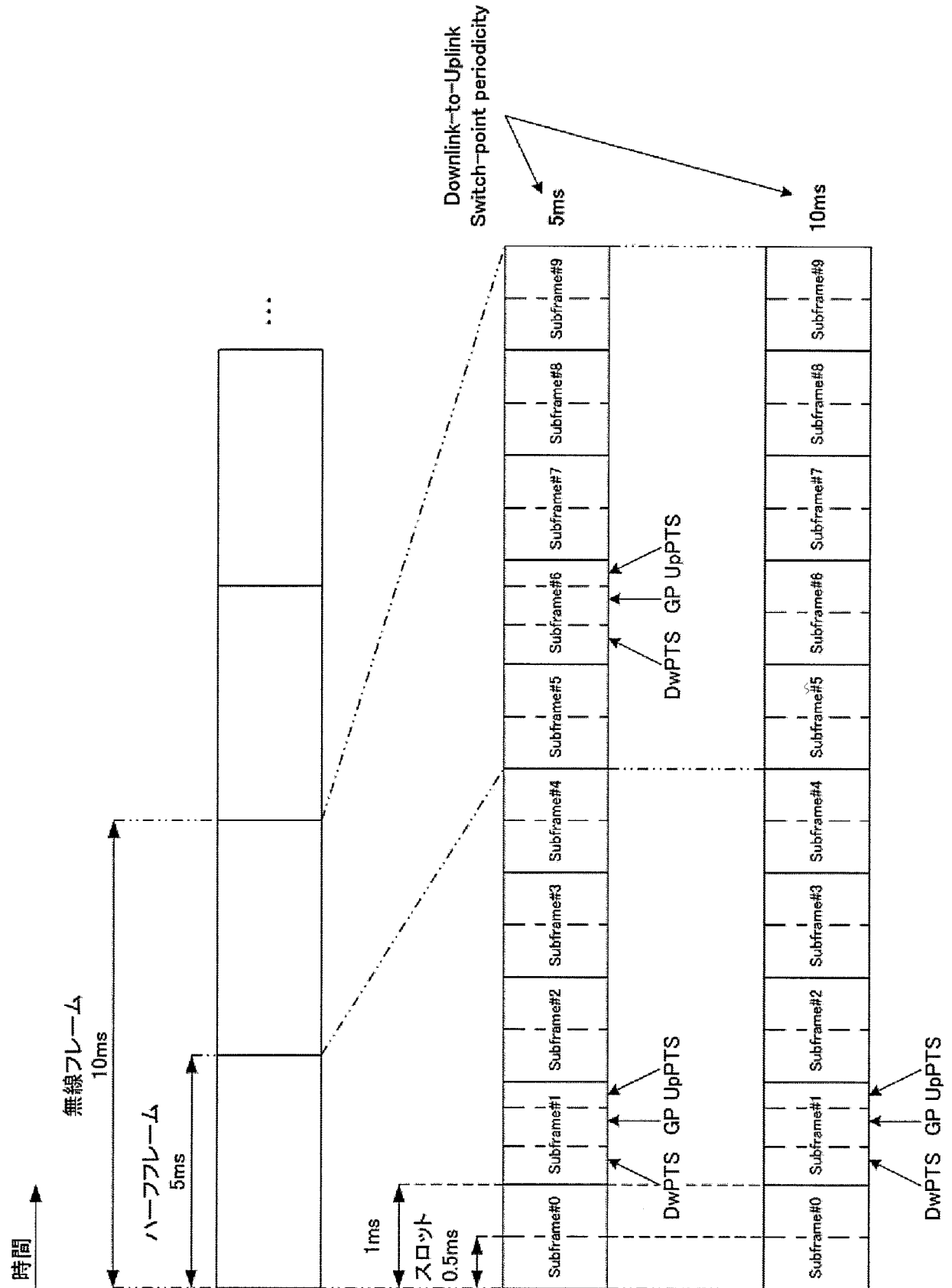
積回路。

- [請求項8] 端末装置と通信する基地局装置に対して用いられる無線通信方法であって、
- 上りリンカー下りリンク設定を示す情報をモニタするサブフレームを設定し、
- 同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報を複数のサブフレームのそれぞれで送信し、
- 前記同じ無線フレームに対して有効な上りリンカー下りリンク設定を示す情報が送信される前記複数のサブフレームは、前記同じ無線フレームの期間の長さと同じ長さの期間に含まれることを特徴とする無線通信方法。

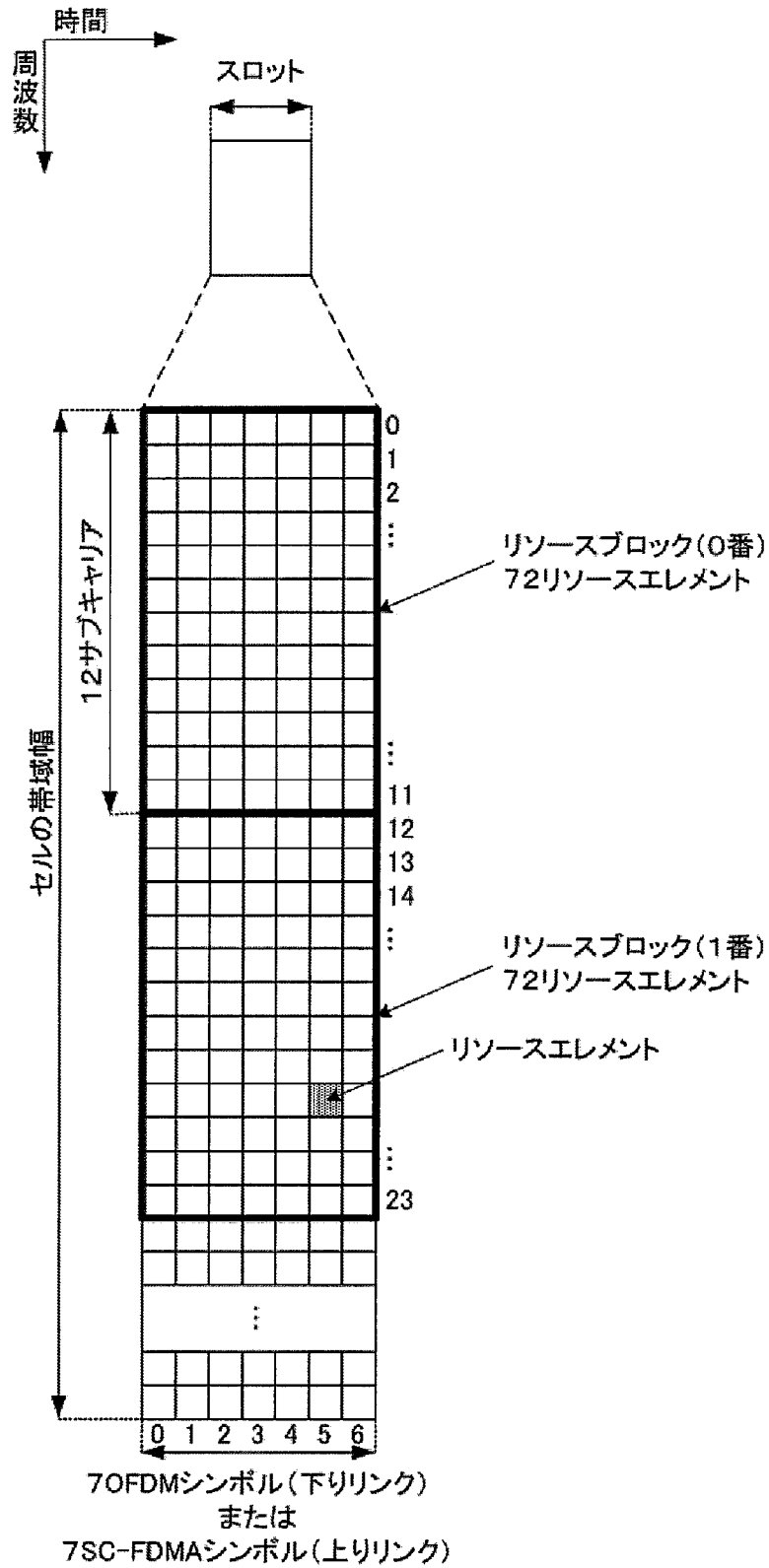
[図1]



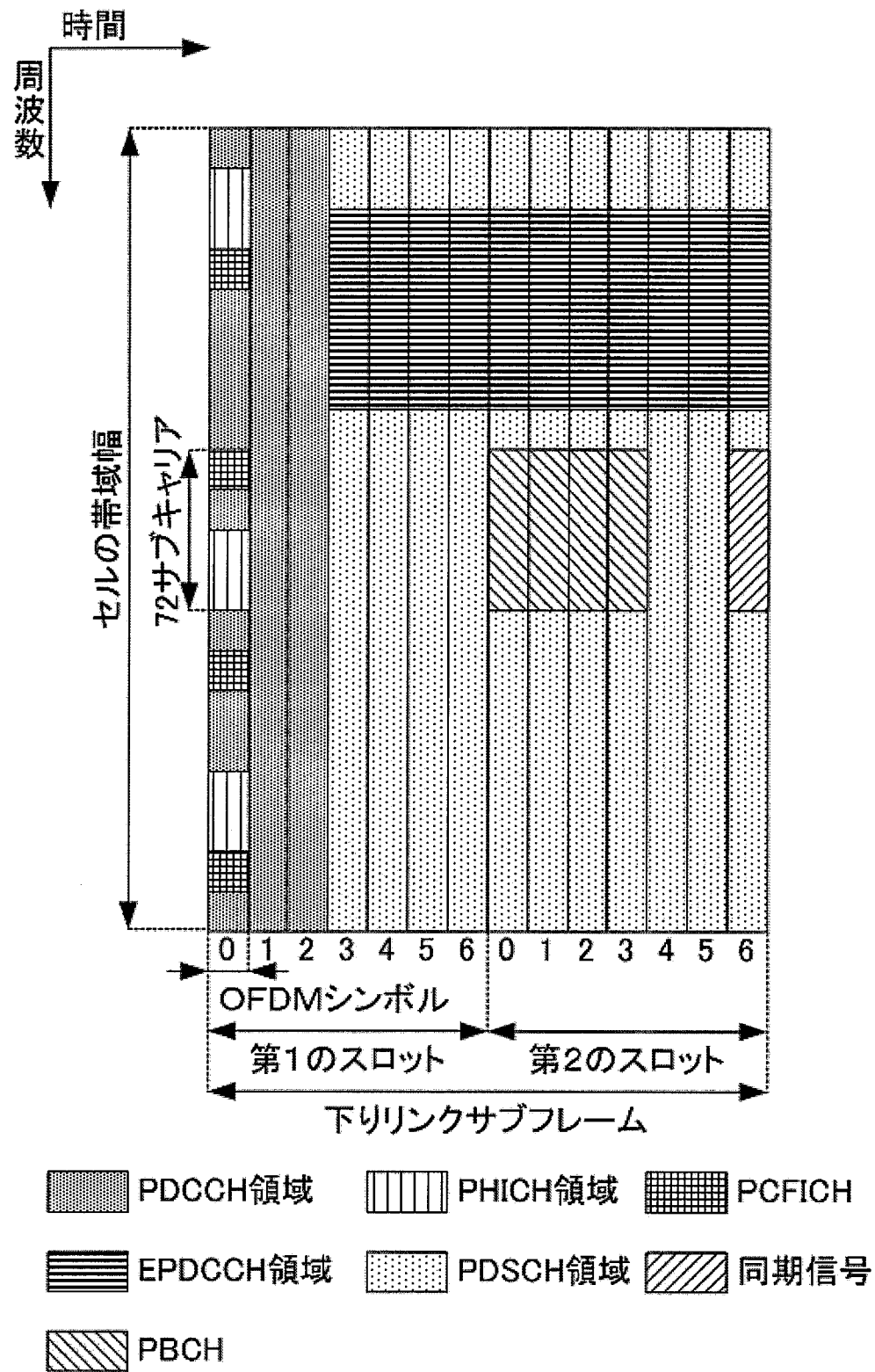
[図2]



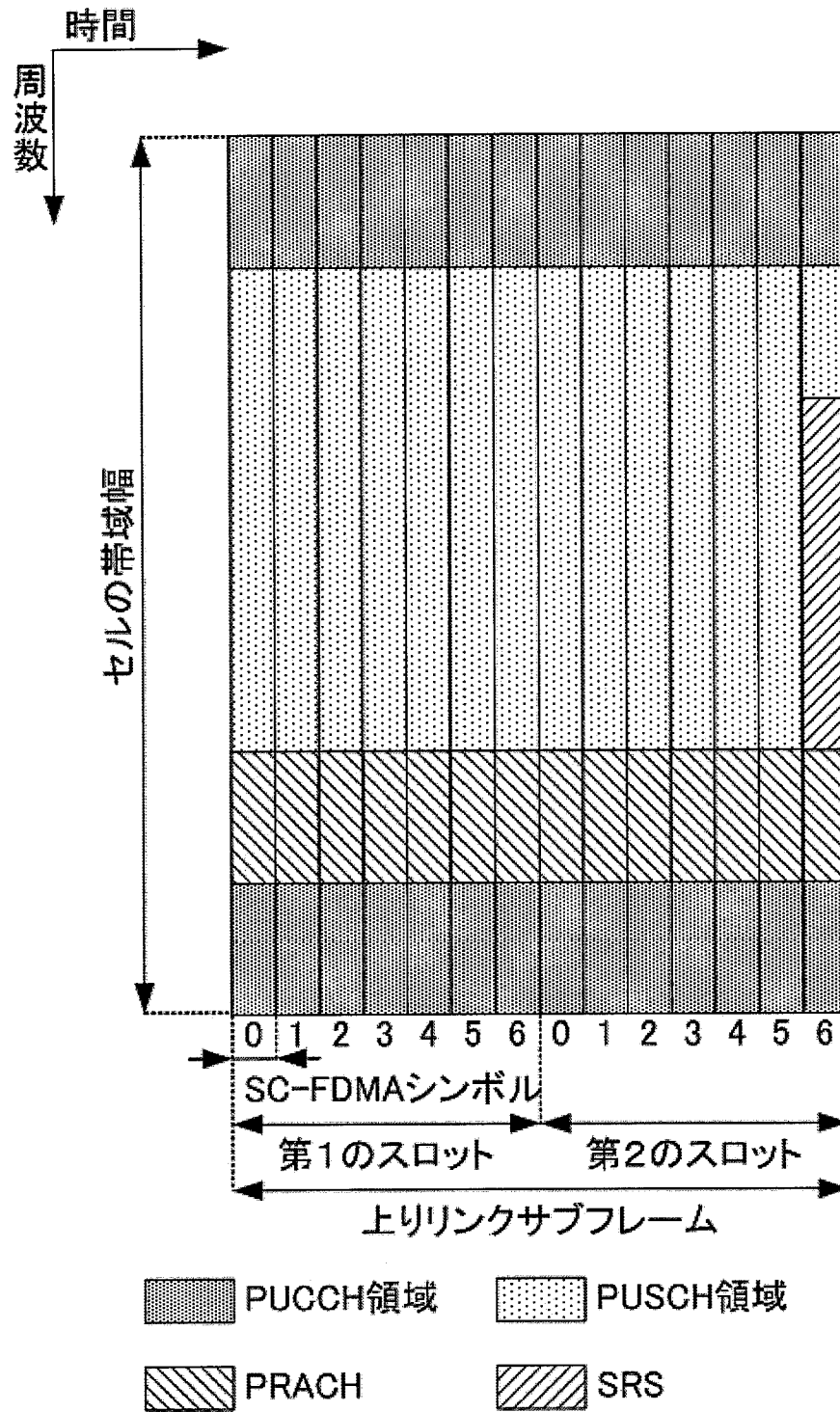
[図3]



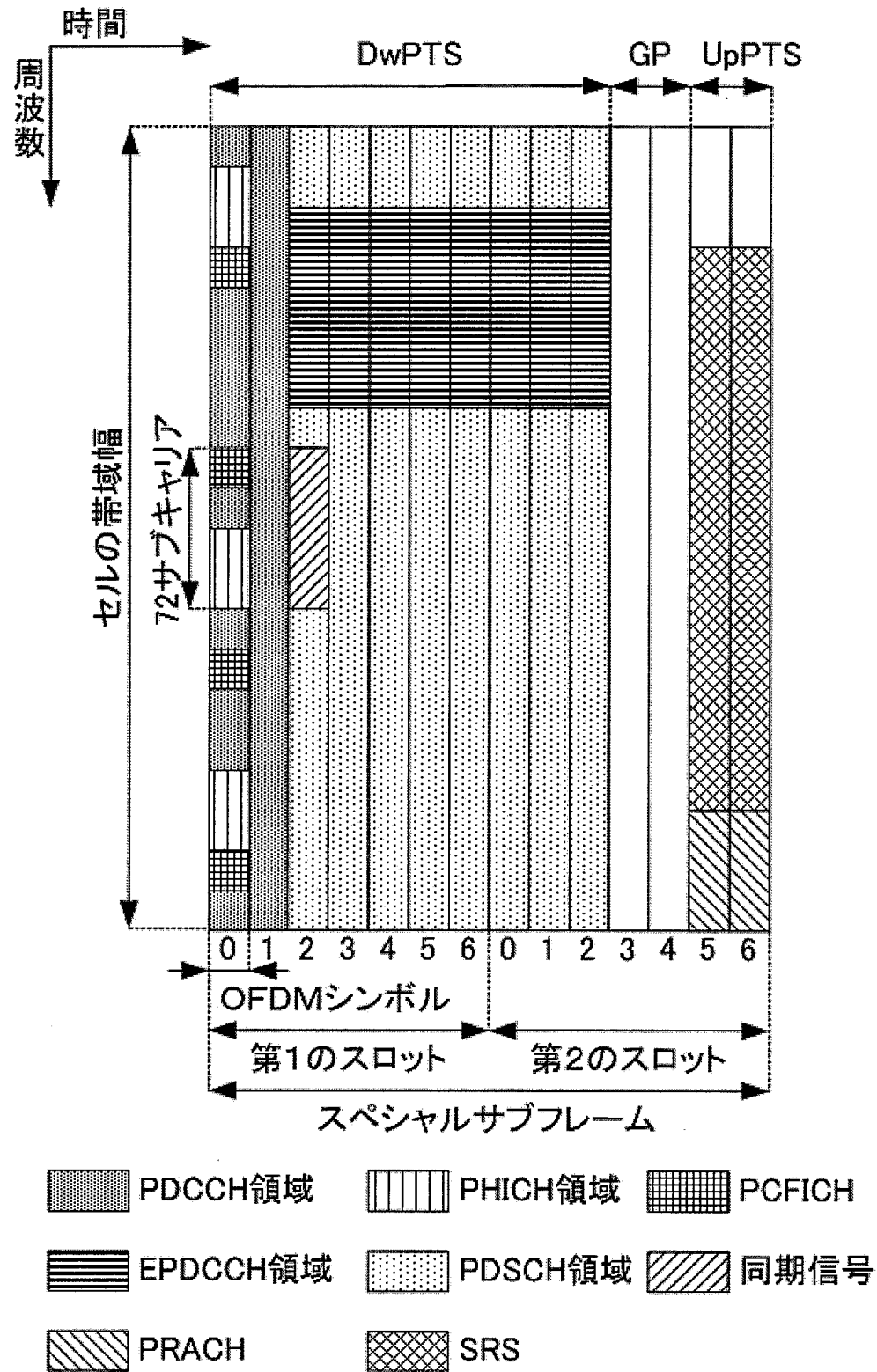
[図4]



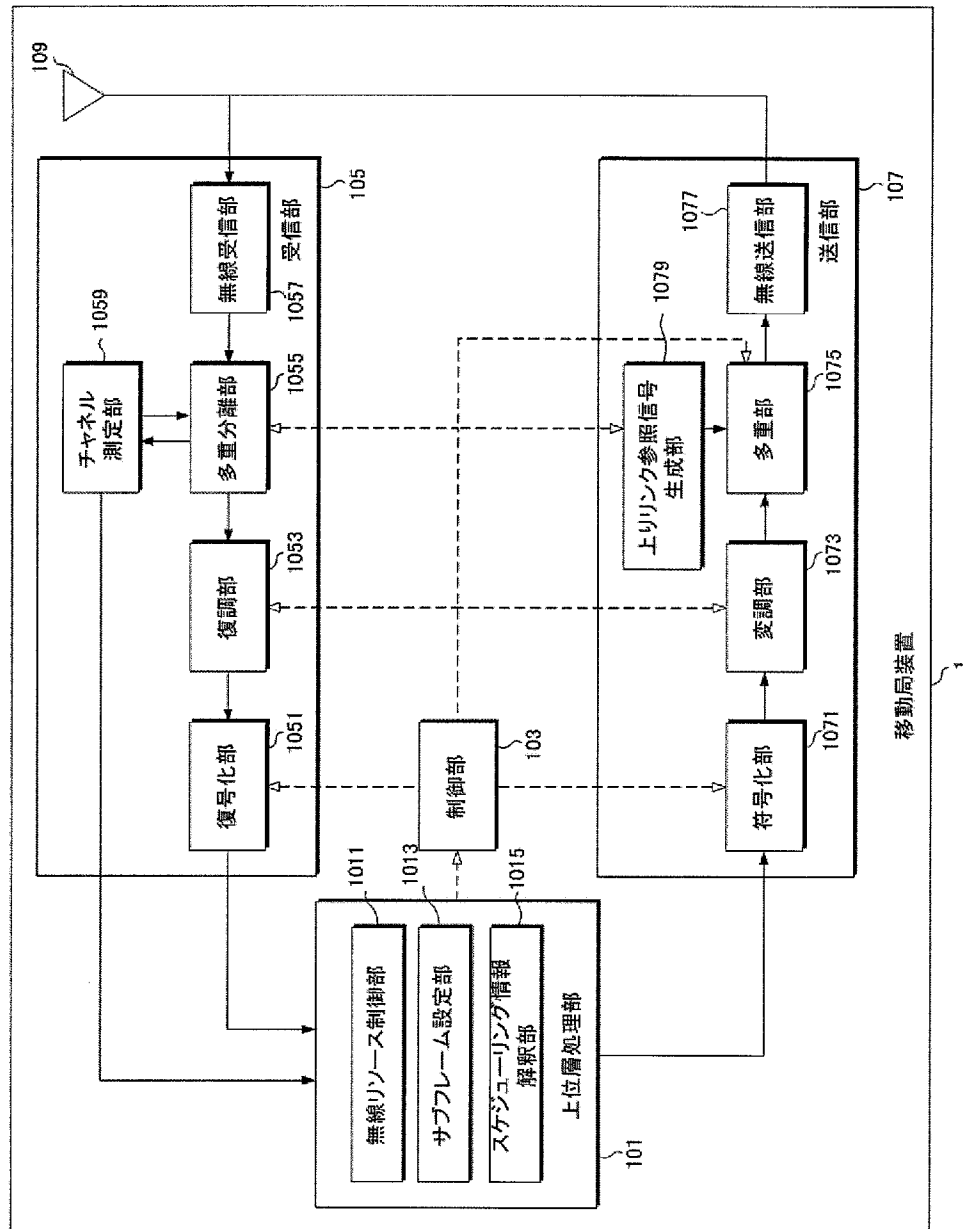
[図5]



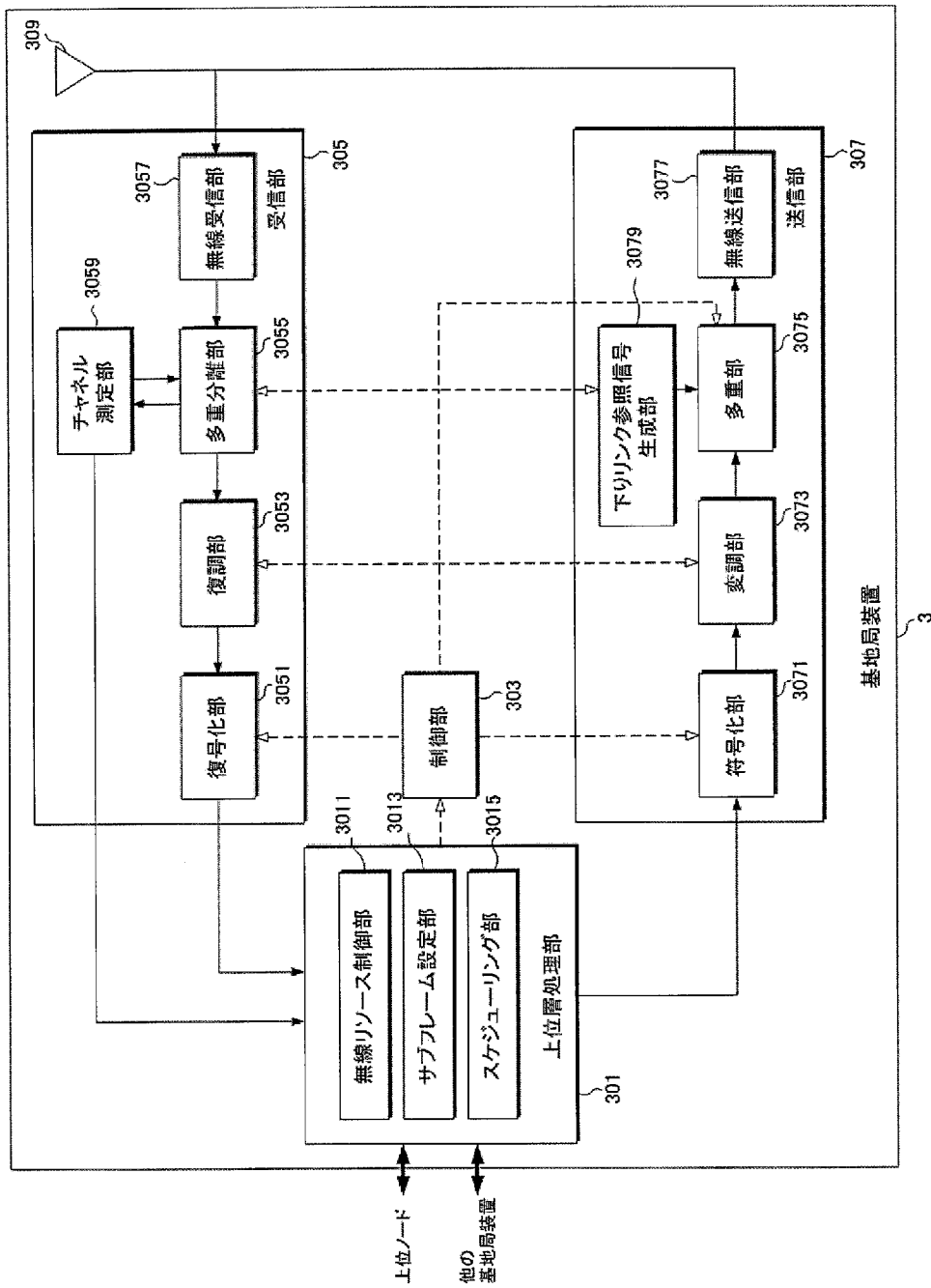
[図6]



[図7]



[図8]



[図9]

Uplink-downlink configuration	Downlink-to-Uplink Switch-point periodicity	Subframe number									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	5ms	D	S	U	U	U	D	S	U	U	U
1	5ms	D	S	U	U	D	D	S	U	U	D
2	5ms	D	S	U	D	D	D	S	U	D	D
3	10ms	D	S	U	U	U	D	D	D	D	D
4	10ms	D	S	U	U	D	D	D	D	D	D
5	10ms	D	S	U	D	D	D	D	D	D	D
6	5ms	D	S	U	U	U	U	D	S	U	D

[図10]

Uplink-downlink configuration	Subframe number									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	4	6				4	6			
1		6			4		6			4
2				4					4	
3	4								4	4
4									4	4
5									4	
6	7	7				7	7			5

[図11]

Uplink-downlink configuration	Subframe number									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	7	4				7	4			
1		4			6		4			6
2				6					6	
3	6								6	6
4									6	6
5									6	
6	6	4				7	4			6

[図12]

Uplink-downlink configuration	Subframe number									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0			4	7	6			4	7	6
1			4	6				4	6	
2			6					6		
3			6	6	6					
4			6	6						
5			6							
6			4	6	6			4	7	

[図13]

Uplink-downlink configuration	Subframe number									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0			6		4			6		4
1			7, 6	4				7, 6	4	
2			8, 7, 4, 6					8, 7, 4, 6		
3			7, 6, 11	6, 5	5, 4					
4			12, 8, 7, 11	6, 5, 4, 7						
5			13, 12, 9, 8, 7, 5, 4, 11, 6							
6			7	7	5			7	7	

[図14]

条件	Uplink reference configuration	Downlink reference configuration
(a)	D	D
(b)	U	U or D
(c)	S	S or D

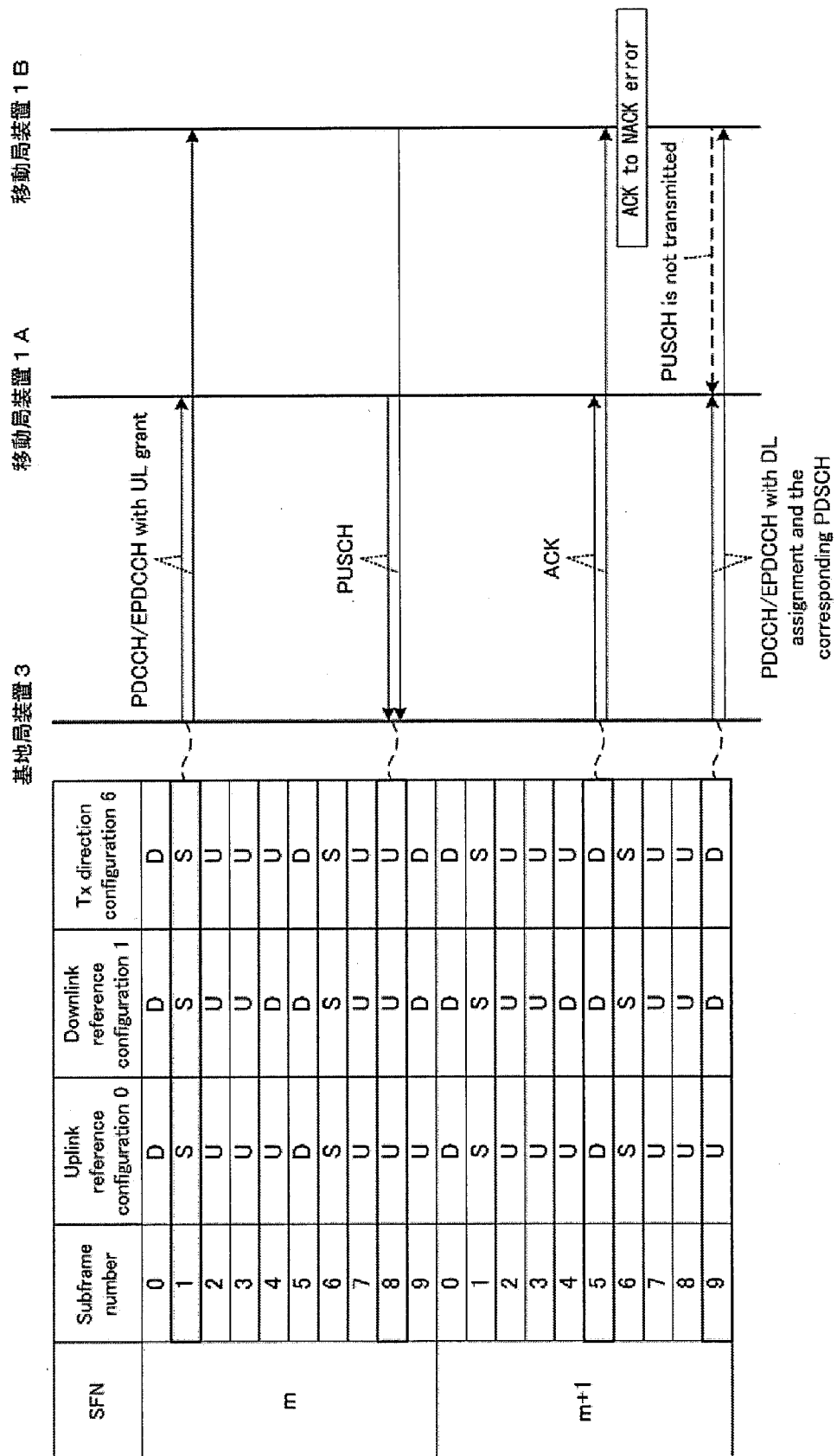
[図15]

条件	Uplink reference configuration	Downlink reference configuration	Transmission direction configuration
(d)	D	D	D
(e)	U	U	U
(f)	U	D	U or D
(g)	S	S	S
(h)	S	D	S or D

[図16]

Uplink reference configuration	Downlink reference configuration	Tx direction configuration
0	1	0, 1, 6
0	2	0, 1, 2, 6
0	3	0, 3, 6
0	4	0, 1, 3, 4, 6
0	5	0, 1, 2, 3, 4, 5, 6
0	6	0, 6
1	2	1, 2
1	4	1, 4
1	5	1, 2, 4, 5
2	5	2, 5
3	4	3, 4
3	5	3, 4, 5
4	5	4, 5
5	—	—
6	1	1, 6
6	2	1, 2, 6
6	3	3, 6
6	4	1, 3, 4, 6
6	5	1, 2, 3, 4, 5, 6

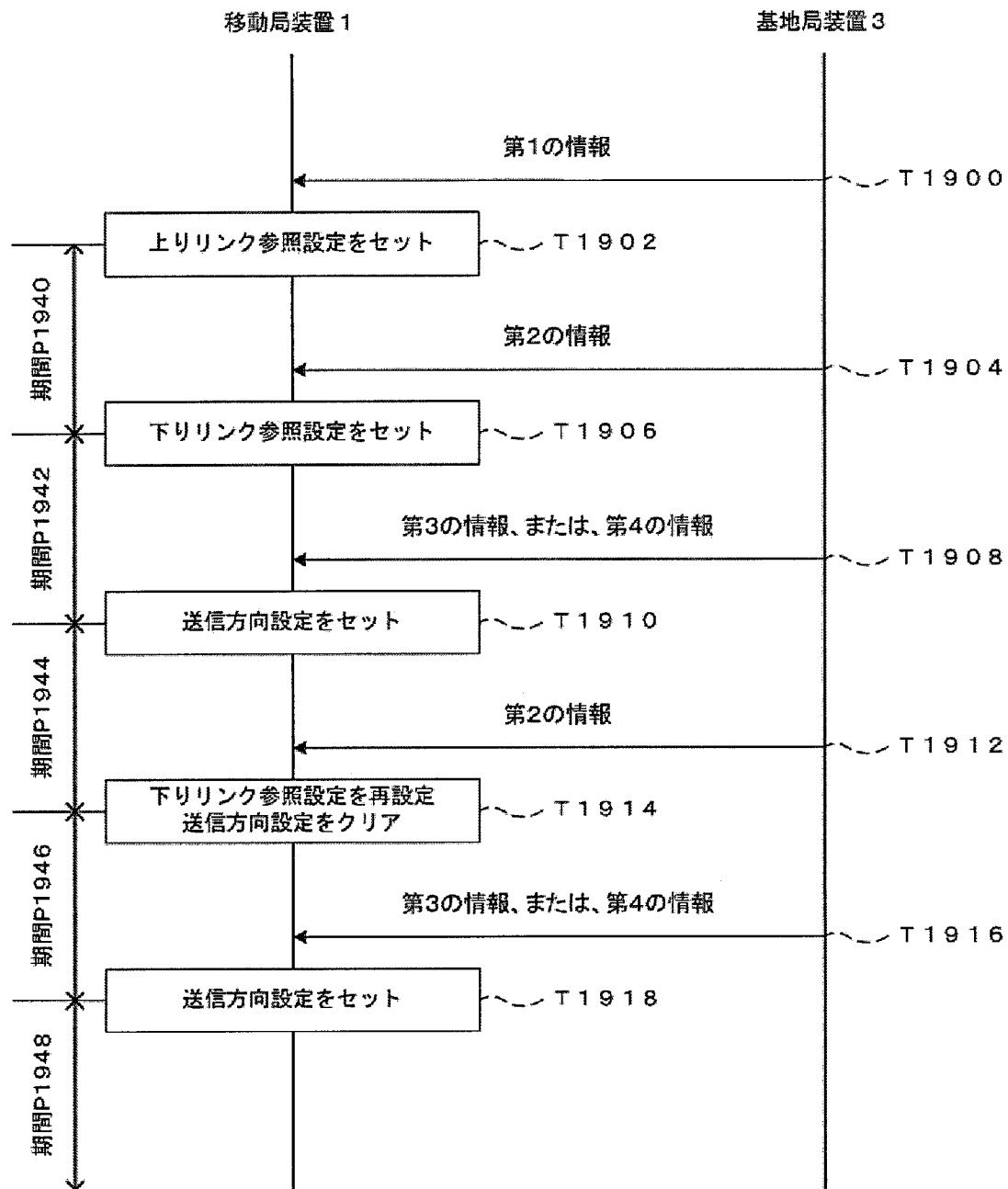
[図17]



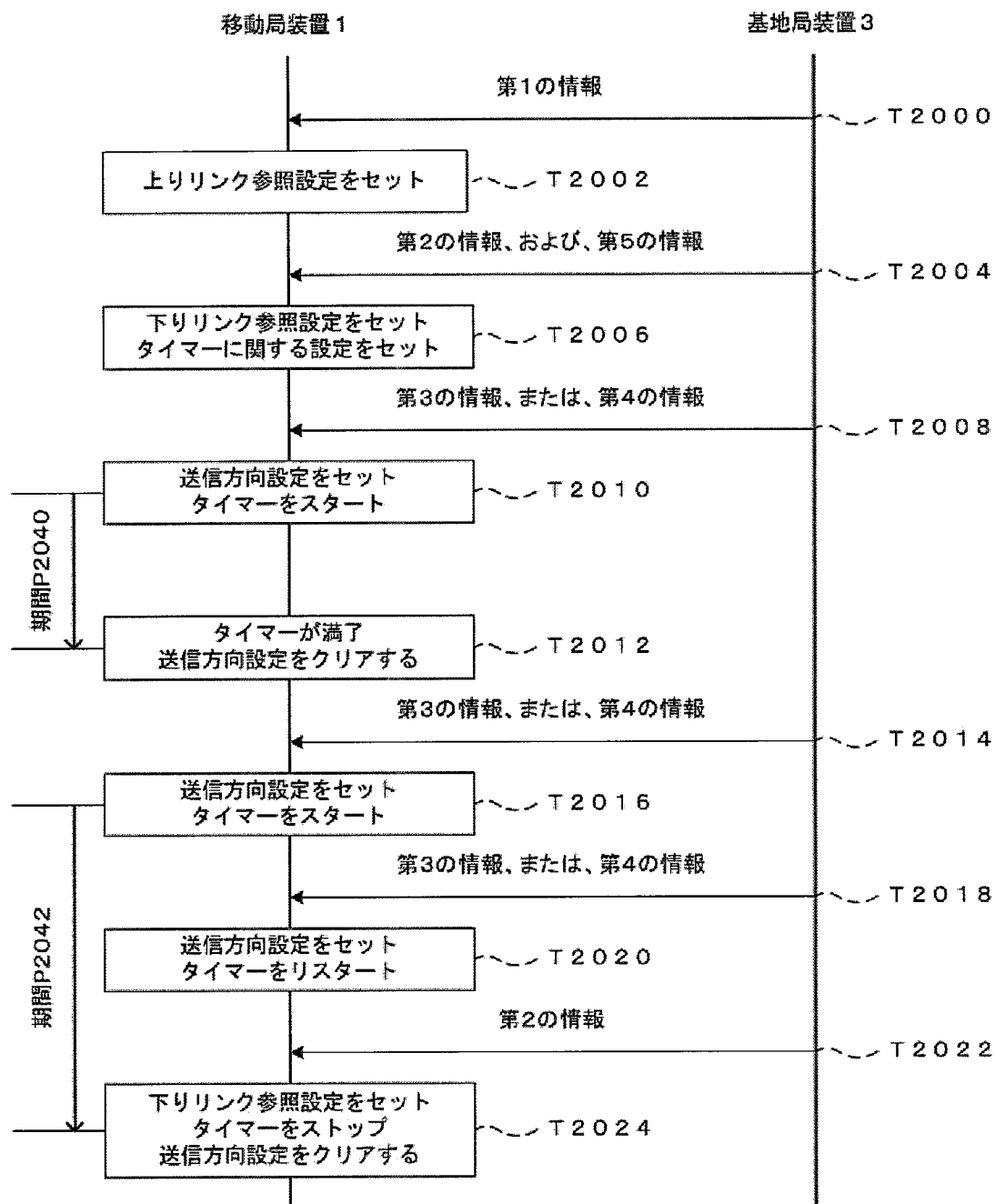
[図18]

Uplink reference configuration	Downlink reference configuration	Tx direction configuration
0	1	0, 1,
0	2	0, 2
0	3	0, 3
0	4	0, 4
0	5	0, 5
0	6	0, 6
1	2	1, 2
1	4	1, 4
1	5	1, 5
2	5	2, 5
3	4	3, 4
3	5	3, 5
4	5	4, 5
5	—	—
6	1	1, 6
6	2	2, 6
6	3	3, 6
6	4	4, 6
6	5	5, 6

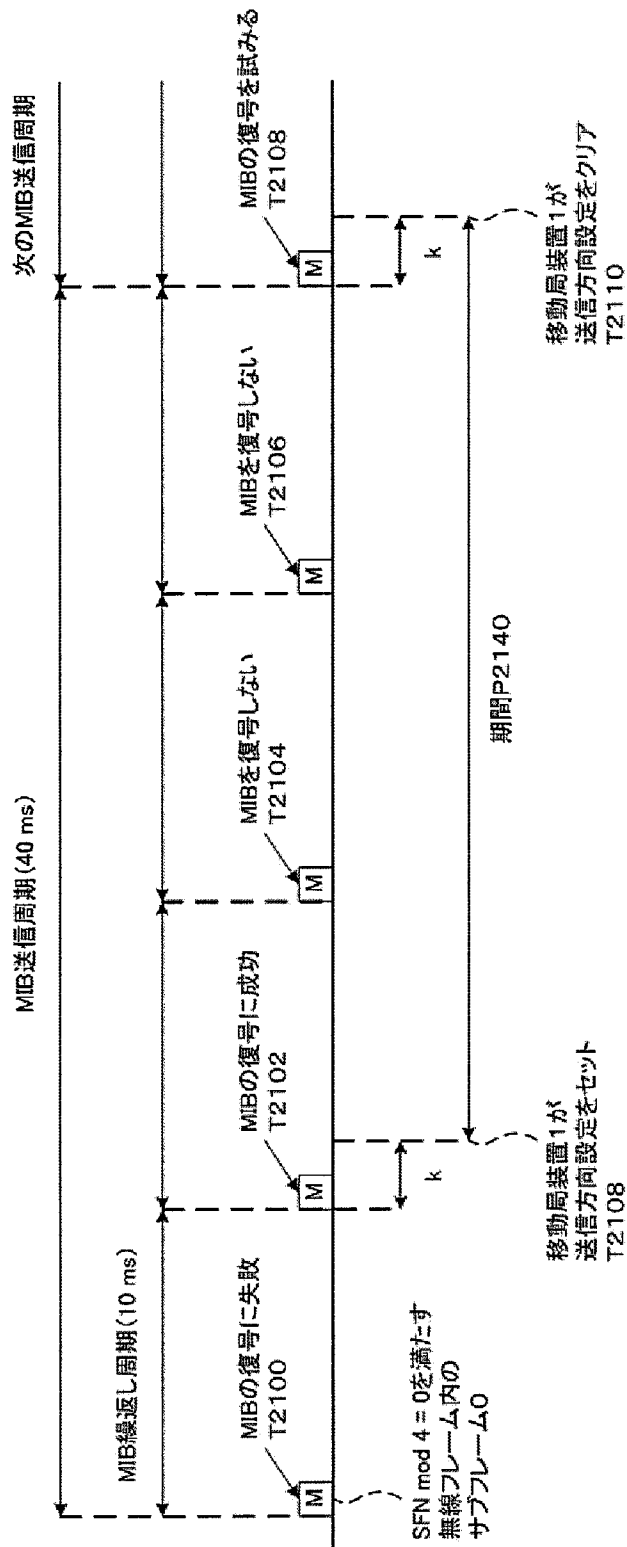
[図19]



[図20]



[図21]



[M] 第3の情報または第4の情報を含むMIB

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/055504

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

H04W28/06(2009.01)i, H04W72/04(2009.01)i, H04W72/12(2009.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

H04W28/06, H04W72/04, H04W72/12

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2014
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2014	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2014

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	Samsung, CRS interference in UL/DL flexible subframes, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130289, 2013.02.01, p1-p3 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130289.zip)	5-8
A		1-4
A	Samsung, False alarm handling in UL-DL reconfiguration, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130292, 2013.02.01, p1-p3 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130292.zip)	1-8



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

20 March, 2014 (20.03.14)

Date of mailing of the international search report

01 April, 2014 (01.04.14)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/055504

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	Renesas Mobile Europe Ltd, Discussion on backward compatibility for TDD UL-DL reconfiguration, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130421, 2013.02.01, p1-p3 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130421.zip)	1-8
A	Huawei, HiSilicon, Potential signaling enhancements for TDD eIMTA, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130445, 2013.02.01, p1-p6 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130445.zip)	1-8

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C）） Int.Cl. H04W28/06(2009.01)i, H04W72/04(2009.01)i, H04W72/12(2009.01)i			
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C）） Int.Cl. H04W28/06, H04W72/04, H04W72/12			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1 9 2 2 - 1 9 9 6 年 日本国公開実用新案公報 1 9 7 1 - 2 0 1 4 年 日本国実用新案登録公報 1 9 9 6 - 2 0 1 4 年 日本国登録実用新案公報 1 9 9 4 - 2 0 1 4 年			
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号	
X	Samsung, CRS interference in UL/DL flexible subframes, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130289, 2013.02.01, p1-p3	5-8	
A	(http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130289.zip)	1-4	
A	Samsung, False alarm handling in UL-DL reconfiguration, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130292, 2013.02.01, p1-p3 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130292.zip)	1-8	
☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。 ☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願		の日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献	
国際調査を完了した日 2 0 . 0 3 . 2 0 1 4		国際調査報告の発送日 0 1 . 0 4 . 2 0 1 4	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁（I S A / J P） 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官（権限のある職員） 田畑 利幸 電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 3 4	5 J 4 5 4 4

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	Renesas Mobile Europe Ltd, Discussion on backward compatibility for TDD UL-DL reconfiguration, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130421, 2013.02.01, p1-p3 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130421.zip)	1-8
A	Huawei, HiSilicon, Potential signaling enhancements for TDD eIMTA, 3GPP TSG-RAN WG1 Meeting #72 R1-130445, 2013.02.01, p1-p6 (http://www.3gpp.org/ftp/TSG_RAN/WG1_RL1/TSGR1_72/Docs/R1-130445.zip)	1-8